

2019-20 年シーズンを振り返って



クラブキャプテン 上坂 弘文

今年は、筆が進みません。

世の中は新型コロナ感染対策でバタバタしていますが、年が変わってからのバーバリアンズの周りは実に静かです。ワールドカップで浮かれすぎたでしょうか。久々に全国クラブ選手権で負けた、しかも1回戦でなすすべなくというか、自滅したような負け方にガッカリしたせいでしょうか。

1. 2019 年度は例年通り YC&ACover 3 5 で幕を開け、YC&AC7's と続きました。トピックスは、5月に昨年度の日本チャンピオン神戸製鋼コベルコスティーラーズと網走で行った練習試合です。

結果は151-0(前半85-0)という惨憺たる内容でした。それでも「つかんだものはあるはず」と思ったのは、ひいき目でしょうか。

ピリカモシリセブンズ

ジャパンセブンズは秋のRWCのために中止となり、チームはピリカモシリ7's、秋田遠征、北海道選手権という夏のシーズンに入りました。6月15日-16日にいつも通りに定山溪で開催されたピリカモシリ7's大会、男子は11チーム、女子は10チームが参加してくれました。男子はリーグ戦で茨城選抜チームに負けましたが、リーグ2位で決勝トーナメントに、1回戦は岐阜選抜に勝ったもの準決勝でユニバーシアード大会を目指す日本男子TIDに19-21と僅差で敗れ決勝進出を逃しました。

女子は、アジアからタイ、マレーシアのチームを含む海外チーム4チーム出場しました。リーグ戦では、AUSのクウィーズランド大学チームと引き分けた Diana が、決勝トーナメントではそこに競り勝って上がってきた女子 SDS に勝利し2連覇を達成しました。

この大会で活躍した日本代表の2チームは7月にイタリアナポリで開催されたユニバーシアードで金メダルを獲得しました。7's ラグビーの競技力向上を目指してきた大会の目標が達せられたと思います。



3. 北海道選手権大会

6月29日から始まった第49回北海道選手権大会は、バーバリアンズレッズとブラックスの3年連続の対決とはならず、レッズを破った道都大学との決勝となりました。Japanセブンズの開催がRWCの関係で開催されなかったこともあり、チーム編成を変えずに臨んだ結果、ブラックスが実力通り勝利はしたものの86対17とちょっと気の抜ける時間帯を感じるゲームでした。



Eブロックで戦ったバーバリアンズCは、九州からかつて名を成したSO大野弁護士など選りすぐりのおじさんを集めたこともあって見事優勝を飾り、Dブロックに返り咲きました。



バーバリアンズコルツは、大会出場に向けたチームのコンセプトの通りに試合に臨み、写真の通りの結果に。トーナメントの関係で2日間ゲームができなかったことが一番の心残りとなりました。



4. 太陽生命カップ

Diana は今年も太陽生命カップに臨みましたが、第 1

戦秋田大会(9位)、第2戦東京大会(6位)、第3戦鈴鹿大会(8位)、第4戦富士裾野大会(濃霧で2日目中止)となり、入替戦は免れたものの年間最終順位は9位に終わりました。一日目のリーグ戦の戦い方に課題が認められました。



5. 今年度のAチームは、TCLの第3節でRKU龍ヶ崎ドラゴンズに28対36(前半21-8)で負け、リーグ戦4勝1敗となり5連覇を達成することができませんでした。



東日本クラブ選手権は、11月17日に熊谷ラグビー場で開催され慶応大学OBが中心のハーキュリーズに38-28(前半12-7)で勝利し、昨年神奈川タマリバクラブに奪われた東日本のタイトルを奪還することができました。

3連覇中の全国クラブ選手権、4連覇を目指したもののフィットネス、相手チームの研究、各人のコンディショニングなどあらゆる面での準備不足が露呈し、初戦の愛知教員クラブに10-48(前半0-17)で完敗してしまいました。

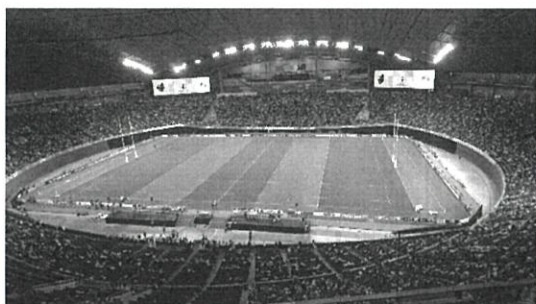
TCLの敗戦、全国での敗戦ともにディフェンスが悪く、ゲームの主導権をとることができないままノーサイドを迎えるという展開でした。春のシーズンからチームとして徹底してきたはずの詰めのディフェンスが忘れ去られていたように感じました。大会はハーキュリー

ズが決勝で名古屋クラブに勝利し優勝を飾りました。2019 年度は東日本クラブ選手権のタイトルを獲得することができましたが、2020 年度はハーキュリーズや神奈川タマリバ、駒場 WMM 等のチームとの厳しい戦いが予想され、日頃からのトレーニングだけでなく、チーム内を如何に引き締め、考え方や戦い方の徹底がどの程度進むのかにかかっています。

A チームの皆さんが、今年を反省し、新体制で次年度にどのように臨むのかを見ていきたいと思います。

6. ワールドカップとレガシープラン

今年のラグビー、ワールドカップを抜きに語れません。



定山溪のグラウンドはトンガチームのキャンプ地となり、前年から養生をはじめ、使用に関する制限ではクラブの皆さんの協力をいただきました。開催前にはエリスカップが定山溪にレンジーと共に展示されたり、グラウンドもワールドカップ仕様に飾られたりと、札幌での開催成功へ向けた取組みにクラブをあげて盛り上げに努めました。その成果もあり、札幌ドームには二日間で 70,000 人を超えるお客様に会場いただきま



《レガシープラン》

ワールドカップの開催と合わせ北海道ラグビー協会に協力する形でタグラグビーの普及をサポートしました。10 月に月寒ラグビー場で開催されたなの花カップにはジュニアからシニアまでの 18 チームが参加、7 人制女子代表で活躍する小笹選手にジュニアが挑戦する

ゲーム等が見られました。チャンピオンズリーグの決勝は、バーバリアンズ Diana と NZL のタッチラグビーで鳴らしたトゥマナワ選手ほか A チーム主体の「なのなの」と見ごたえのある試合もありました。これからは多くのラグビーシーンでバーバリアンズの皆さんに活躍していただきたいと思います。



今年一番残念なこと。

バーバリアンズのことを考え、ジュニアの将来を考え、先頭に立っていた菊地修さんが亡くなってしまったことです。

新しいシーズンもこの姿を見たかった。



2019年度シーズンを振り返って

～すべて原点に立ち返り捲土重来！～

田尻 稲雄

第27回全国クラブ選手権大会 1回戦敗退

今年度の全国大会は2020年1月13日熊谷市で開催された。第1回戦の相手は愛知教員クラブ。試合結果は10対48。惨敗。

第1回戦での敗退は、第19回大会（平成23年度（2011年））の1回戦六甲クラブに負けて以来が無かった。まったくと言っていいほどディフェンスがダメだった。

昨年の赤本に全国大会3連覇についてこう書いた。

「今年度の決勝戦は点数の差こそありませんでしたが力の差は六甲クラブ、神奈川タマリバクラブより感じました。

その理由はいくつかあります。

①フィットネスレベルの違い。②スクラムの安定。③ラインアウトの高さ。④モールがしっかり組めるようになりました。まずこの4点です。更に3年前から変えたディフェンスです。ドリフト・ディフェンスからシャロー・ディフェンス変えました。その結果、駒場、タマリバと対等以上の戦いが可能になりました。」

更に課題として「問題点はいくつかあります。

①タックルが全くダメです。前に倒すタックルをしなければダメです。②ブレイクダウンが全くダメです。サポートプレイヤーの寄りが常に遅い。何度も相手に早くサポートされラックをオーバーされターンオーバーされました。これらの課題をしっかりとクリアできればもっと点数の差も広げることができます。トップイースト、ウエストやトップリーグのチームとの試合を重ねて練習すべきだと思います。」

と上げた。

上手になったと言った①フィットネス。②スクラム③ラインアウト④モールは今年どうだったでしょうか？課題として上げた①タックル②ブレイクダウンは改善できただろうか？

東日本トップリーグ、東日本クラブ選手権大会が終了した時点で幾度もこのままでは全国大会では勝てないこと言って来ました。

あまり真剣に受け止めてはくれませんでした。

予兆はありました。東日本トップクラブリーグのRKU龍ヶ崎ドラゴンズ戦です。前半からディフェンスが甘くて後半最後逆転負けします。

振り返って見ると今年度はアタックもディフェンスもきちんと約束事が出来ているようには見えませんでした。

基本からやり直すべきです。もう一度原点に立ち返りましょう！

フィットネス

スクラム

ラインアウト

モール

ディフェンス

先ずここからやり直しましょう。そして基本的な難しいアタック。

来年度に期待したいものです。



**定山溪バーバリアンズ・グラウンドを
アジア・オセアニアの7'sの拠点に！
2019年度 男女7人制の強化の総括！**

定山溪グラウンドが2017年に男女セブズ日本代表の「JOC 認定競技別強化センター」に指定され2年経ちました。

単にJOC（(公財)日本オリンピック委員会）から施設が認定を受けたと言うだけではなく北海道バーバリアンズのみならず北海道全体がセブズ競技のレベル向上、強化に繋がっていかねば意味ありません。選手達、特に女子選手の育成強化が進んでいます。小笹知美に続いて磯貝美加紗、三枝千晃が日本代表候補合宿に呼ばれています。

その他の女子選手たちのレベルも上がってきました。特にパスとキャッチングにミスが無くなりつつあります。クロスフィット・トレーニングを積んで体幹を強くすることです。

一方男子はジョセ・セルのあとトウマナワ・タウハイの2人です。男子も軸となる選手が出てきました。あとはトレーニングを重ねることでチームとしての力は自ずからついてきます。

日本協会の後押しで施設認定が行われ、日本代表の合宿が定期的に行われる中、北海道、北海道バーバリアンズから選手が育ち始めています。現在、北海道協会女子委員会でもこの「強化センター」を利用し中学、高校、大学から選手育成を取り組み始めました。軸になる選手が出て来、更に後を追いかける選手たちが沢山育ってくれることを願っています。

ワールドカップを通じて何を心得何を未来に繋げるか？

「一生に一度」というキャッチコピーと共に日本で開催されたワールドカップは、興行的にも競技的にも大成功を治めました。観客動員170万4443人、総収入677億円利益は68億円。札幌ドームの2試合の観客数はオーストラリア対フィジー戦36,482人、イングランド対トンガ戦は35,923人。

日本ラグビーフットボール協会はワールドカップ後に

「レガシーを」と呼びかけましたが具体的な施策はありませんでした。

北海道ラグビー協会、北海道バーバリアンズは一つ目「アジアに対する貢献」二つ目は「ラグビーの普及」を掲げ取り組みを行いました。

「アジアに対する貢献」については2018年にアジア3か国からチームを招待して「アジアインビテーショナル7's 2018 in 札幌」を実施しました。今年度はW杯ということもありペンディングになりましたが、継続することでレガシーを作ることができると思います。

一方、バーバリアンズはここ数年、ジュニアの育成とセブズの強化を行って来ました。

ワールドカップを機にラグビーに対する理解と興奮が一気に広がりを見せています。この機を逃すことなくラグビーの魅力を感じるような「見る」「やる」「支える」仕組みを作りましょう。



2019 年度シーズンの反省

ゼネラルマネージャー兼ヘッドコーチ

2019 年度の振り返り

平島 英治

今年度は全国大会 4 連覇がかかったシーズンでしたが、2011 年のシーズン依頼の 1 回戦敗退となりました。コーチング部門の責任者としては 1 年を通したラグビーへの取り組み方や練習姿勢等反省すべきところは山積みとなってしまいました。具体的には今シーズンから取り組んだポッドによるアタックが十分に機能しなかったこと。基本的なトレーニングが積み上げられず最後はフィットネス、ブレイクダウンで負けてしまったことが大きな要因だと思います。

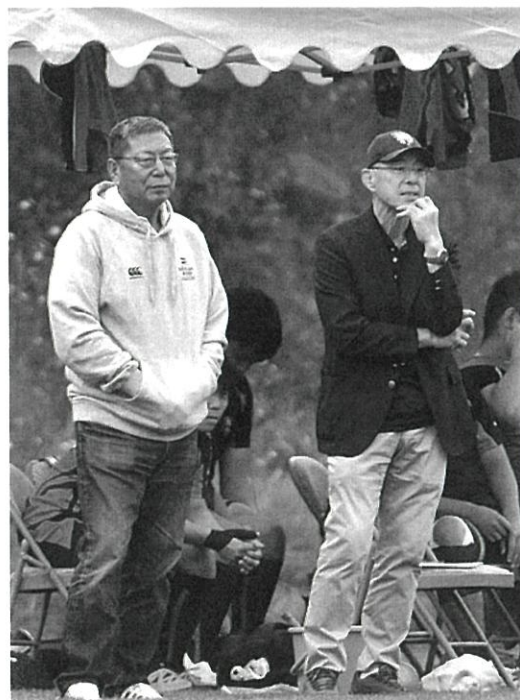
スケジューリングの観点からすると、ワールドカップによる日程が変則となり、8 月からの 5 週連戦や 11 月の東日本決勝から全国大会までの 1 か月以上の試合のない期間できてしまいました。その間の選手のコンディショニングや試合感覚の調整が難しく、今後の課題となりました。

いずれにしろ、来年度は 1 から出直しとなり、トレーニング計画、試合日程調整等練習・トレーニングの成果が出せるよう行っていきたいと思っています。

一方外部環境としては、クラブ選手権の強豪にも変化が見られました。

全国大会の決勝は慶応大学ラグビー部 OB で結成されたハーキュリーズと元トップリーガーが数多く参加した名古屋クラブが対戦し、ハーキュリーズが優勝。過去 16 回の全国大会の決勝に北海道バーバリアンズ、神奈川タマリバクラブ、六甲クラブ、駒場 WMM 以外のチームが進出したのは北海道バーバリアンズ初優勝の 2017 年 3 月の名古屋クラブのみだったことを考えると、変革の兆しが来ていると思われます。

ハーキュリーズにしても、名古屋クラブにしても、経験豊富な選手が大学卒業後やトップリーグ引退後もきちんとトレーニングを積んだと考えられます。従来はそういったチームがあまりトレーニングを積んでいない事に対し、北海道バーバリアンズは平日のトレーニング等で上回った成果が、全国大会 3 連覇となっていたのではないかと思います。こうした流れの中、ハーキュリーズや名古屋クラブ等のチームにどうやって勝てるかをもう一度考える必要があるかと思います。2013 年度の初優勝以降、平日のクロスフィットでのトレーニングや土日の練習がベースとなって他のチームに勝ってきた実績をもう一度振り返り、組み立てなおしていきたいと思っています。



一年を振り返って

A チーム 靑山 拓己

1年間お疲れ様でした。また、皆様の応援サポートのおかげで無事シーズンを終えることができました。ありがとうございました。



今年は年度初めの神戸製鋼との練習試合をはじめ、釜石、秋田のような普段試合しないような格上のチームとの試合もあり、その後一生に一度のワールドカップ日本開催といったビッグイベントがある等チームも個人も多くの経験と刺激を体感することができた1年だったと思います。チームの結果として東日本トップクラブリーグでドラゴンズに敗れ、全国クラブでは1回戦で愛知教員クラブにも破れる。と散々な結果だったことは今シーズン主将としてチームを引っ張った私の中で様々な面で全体個人ともに厳しさが足りなかったとおもひ反省しています。

そんなタイトルを獲得できなかったシーズンでしたがとても収穫に感じたことは神戸製鋼との試合を体験し、ワールドカップ期間は多くの試合を見たことで今年度挑戦した現代主流になりつつあるポッドラグビーに対するイメージはおかげさまでかなり浸透したのかなと思います。ただイメージがそのまま実行できることは容易ではなく、エディーさん曰く年間200日以上練習する代表レベルが3年間の時を要してやっと完成するようなシステムみたいなので、来年度以降はどういう形でやっていくかは来季の首脳陣次第ですが、大学よりも長いこと同じ顔触れでできるバーバリアンズという環境で引き続き挑戦するのも面白いのかなと思っています。

最後に、個人的には年々走れなくなってきましたので大学生ぶりくらいにトレーニングをしっかりと真面目に行おうと思います。

北海道バーバリアンズ

岡田 圭一朗

今シーズンを振り返りやはり一言悔しかったです。

チームの戦績ももちろん良いチームとなるために自分がもう少しできたこともあるのではないかと後悔もしています。シーズン中、このチームじゃあ負けないだろうとどこかで油断し日々のトレーニングも妥協し過ぎていたのではないかと反省しています。

後になって反省することはいくらでも出来それを取り戻すことはできないのでこの反省を踏まえ来シーズンはまた0からチーム作りをし、クラブチームとしても少しずつ良い方向へ進めていきたいと思います。自分自身今思うとFWの中では上から2番目の年齢となってしまった為体のケアをしっかりとつつ怪我に気を付けて1年間取り組んでいきたいと思います。



2019-2020 シーズン

和田 昂樹

2019年度の振り返り

北海道バーバリアンズの選手の皆様、スタッフの皆様、お疲れ様でした。そして応援していただいた皆様、ありがとうございました。

今年度は、現在のバーバリアンズが他のチームと比較し、今どんな立場にいるのかということ強く感じることでできたシーズンだったと思います。自分たちの力も知ることが出来ました。

気持ちに慢心があれば油断が生まれ、気持ちに余裕があれば落ち着きや自信を生むと自分は思います。

愛知教員クラブのキャプテンがファンクションで、「バーバリアンズと試合することが決まってから1/13をイメージして過ごしてきて、全員が体を張ってベストな試合ができた」と言っていました。

試合の準備1つで差が出るのだと改めて気付かされました。



2020 年度の抱負

シーズン終了時の思いを一過性のもので終わらせるのではなく、一から自分自身見直し、個人としてもチームとしても確固たる自信を持ち、また来シーズン全員で“日本一”目指して頑張りたいと思います。

自分が出て、相手が出て、チームメイトが出て、素晴らしい環境もある。

当たり前ではないです。この環境がある中で、もっとハングリーになればもっと成長できると思います。全てにおいてリスペクトを忘れないことが大切です。

9 シーズン終了

清田 祥史

今シーズンは例年にならぬ程、ラグビーに関わる機会が多いシーズンとなりました。



例年通り前半戦は大会運営などでラグビーに関わり、9月以降はラグビーワールドカップを通して大会期間中様々なラグビーファンとの交流の機会を頂きました。

チケットを購入しておりましたが現地に行くことはできませんでした。すごい心残りです…
それでも日本代表メンバーの中には高校、大学の後輩が試合に出ているのを見ただけで楽しかったです。

肝心の私のラグビーについては…

今年で9年目のシーズンを終えました

例年に実例のない程、規律が乱れていたAチームだったのが印象に残っております。

練習、遠征などで遅刻者が出たり
練習に来ては前日のお酒が残ったまま練習に参加するなど（練習に参加できていない…）

…そんな選手を指導できなかったのは年長者としての責任だと反省しております。

このようなチーム状態で優勝できることもなく結果として全国大会一回戦負け

三連覇してきたものが一瞬にして消えてしまいました

結果がすべての中で求められるのは前提としてまず目標に向けての過程が疎かだったと思います。

私自身、試合に出場できるようなコンディションでも

なく唯々、みんなが試合しているのをベンチから見ている時間が多い中でも数分でも一緒にラグビーできることは幸せでした。

年齢的にもそろそろ潮時なのでバーバリアンズに来た当初の熱い気持ちを今一度、思い返し…

「途中で休むな、最後に休め」をテーマに頑張りたいと思います。

2019 年度を振り返って

君嶋 祐太

2019 年度の振り返り

皆さん1年間お疲れ様でした。

今シーズンは個人としてもケガでラグビーが出来ず、チームとしても思うような結果が残せず、悔いの残るシーズンとなってしまいました。

ですがリハビリ期間中はリフレッシュができ、来シーズンに向けていい準備が出来たので、今シーズンの反省を生かしてまた皆で日本一になれるよう頑張りたいと思います。

そろそろ和田の覚醒にも期待したいところです。



2019～2020 シーズン

奥田 浩也



2019 年度の振り返り

昨シーズンは応援本当にありがとうございました。不甲斐ない結果に終わり応援してくださった皆様にご迷惑をお掛けしました。本当にただの準備不足でした。強いチームは試合までの時間を大切にしています。それを僕たちは怠っていました。良い勉強になりましたので、今後は楽しみです。ありがとうございました。

2020 年度の抱負

振り返りで書きましたが準備で全てが決まります。昨年の反省を今シーズンにいかすようによりよく考え、練習で成長、試合でレベルアップできるように大人なチームにしていきたいと思います。今後も A チームをよろしく願いいたします。

今シーズンを終えて

櫻場 弥



2019 年度の振り返り

北海道バーバリアンズ A チームの櫻場 弥です。

今シーズンを振り返るとリーグ戦、東日本と厳しい試合が続き、東日本は優勝できましたが、

全体的に良い結果を残すことはできませんでした。

私がバーバリアンズに入ってから優勝 3 回、準優勝 2 回と昨シーズンまで全国大会決勝まで進んでおりましたが、今回初めて全国大会初戦負けを経験し、自分の力不足が感じられた年でした。選手達も実感していると思いますが、個人、チームとしてもしっかりとした準備ができていない状態で全国大会に臨んだ結果でした。

2020 年度の抱負

来シーズンはチャレンジャーの気持ちを忘れず、全大会で優勝を目標にしたいと思います。

ジュニアチームとも交流を持ち、みんなから応援されるようなチームを作りたいと思います。

シーズン 6 年目

大島 康裕



2019 年度の振り返り

全国大会序盤での敗退となり、私がチームに加入して以来最も

早いシーズンの終了となりました。それぞれ思うことがあるかと思いますが、それを忘れずに次に繋げていければと思います。また、ラグビーワールドカップの日本開催、そして日本代表の大躍進によって、「にわか」ラグビーファンが増えたことを大変うれしく思います。今まで野蛮なスポーツかのような眼差しを向けていた多くの人達から「ラグビーって面白いね」と言われました。今までラグビーに興味を示さなかった私の父も「お前の次の試合はいつだ」と聞いてくるくらいでした。

2020 年度の抱負

このラグビーブームに乗っかり、いちファンとしてラグビーを楽しめれば良いと思います。環境への感謝は忘れず、大好きなラグビーを心から楽しみたいです。

感謝・謝罪・抱負

七戸 勇氣



2019 年度の振り返り

皆様、今シーズンお疲れ様でした。

東日本クラブラグビートーナメント大会では優勝できましたが、全国大会では一回戦負け。

応援してくれていた皆様には、本当に感謝しております。

本当にありがとうございました。

全国大会優勝という恩返しができなかったのも今シーズン悔いが残るものですね。

何度も相手ウィングに抜かれてしまい申し訳ありませんでした。

しっかりと 2019 年シーズンの色々な試合での経験を 2020 年シーズンに繋げられるようにしていきたいと思っています。

2020年度の抱負

来シーズンは、もっとチームのウィング全体でのスキルアップ、体カアップなどを目標にしていこうと思っております。もっとチームの為に体をはれて、得点に繋がるプレーができる選手へと変わっていければと思っております。そして今シーズンの悔しさを、来シーズンへしっかりとぶつける事が一番大事な事だと思しますので、チーム全体で一つの束となり、テッペン目指しましょう。

GO！！北海道バーバリアンズ！！

振り返りと今後

青山 亮太



昨シーズンは全国大会1回戦敗退という結果になった。この試合に関しては、自分も含め、特に理由はないが漠然と勝ると皆が思っていたのが理由ではないだろうか。改めて油断大敵ということを感じた。誰が相手であろうと油断せず、最高のパフォーマンスを発揮できるよう日常生活を過ごすことが大切だと思う。

また大事なことは、これを生かし今後どのように過ごして行くのかということだと思う。皆がこの悔しさを忘れず、日々のトレーニングや練習に取り組んでいけば、たとえ1日1日の差は少しだとしても、1年間積み重ねたらそれは大きな差になり、バーバリアンズはクラブ中でも負けないチームになれるのではないかと。

最後に個人的に大切にしたいこととしては、ラグビーを楽しむこと。これだけは忘れずに、どうやったら楽しくラグビーに取り組めるかも考えながら過ごしていきたい。



来シーズンに皆さんご期待ください！

振り返りと抱負

吉田甲大



【2019年度】

まず初めに、2019年度北海道バーバリアンズを支えていただいた皆様本当にありがとうございました。そして、選手の皆様お疲れ様でした。

今シーズンのAチームは全国クラブラグビーフットボール大会4連覇が懸かっており、靱山キャプテンを先頭に日々の鍛錬をしまりました。東日本トップクラブリーグではドラゴンズに敗戦し、危機感を持って挑んだ東日本クラブ選手権ではハーキュリーズに勝ち優勝をしました。まず昨年の屈辱を晴らし、東日本クラブの王者奪還ができチームの士気は上がっていたように感じました。全国大会の1回戦の相手は「愛知教員クラブ」、個人としては今シーズン公式戦初のスタートメンバーでの出場となりました。昨年の赤本では、今シーズンスタートメンバーとして出場することを目標にしていたので「よしっ！やるぞ！」と奮起していました。しかし、試合が終わってみれば10-48と完敗。愛知教員の準備力に圧倒されました。悔しさと、自身の力量の無さに情けなく、サポートして下さった皆様に申し訳ない思いでいっぱいです。

【2020年度】

2019年度は準備する力に着目し、チームが勝つために個として何が出来るかをもっと考えないといけないと思います。もう一つは思いやりのあるチームになりたいと思います。靱山キャプテンは今シーズンの試合中、味方同士でミスを攻め合ったり、貶し合ったりすることをやめさせてくれていました。昨年に比べ試合中の雰囲気は良かったです。ここにプラスして次年度はチームの雰囲気が良くなる言葉かけや、行動を普段から起こしていきたいと思います。自分のことだけでなく、周りのことをもっと考えた言動を心掛けないといけないと感じております。全国王者奪還へ今一度熱い応援宜しくお願い致します。

4年目のシーズンを終えて

大嶋 航平



まず始めにシーズンを通して、支えて頂いたスタッフ・トレーナーの皆様、関係者の皆様、本当にありがとうございました。今年1年を振り返ると、北海道バーバリアンズにとっても悔しい結果になってしまった1年でした。私としてはまず怪我の完治が最優先でしたので、リハビリに精を尽くしました。冬になりビニールハウスの練習に参加できるようになり、もうすぐ試合に出られる状況になるという矢先だったので、非常に残念でした。試合に負けてしまったことはもう仕方が無いことなので、今は再度怪我をしないように、また出来ることからコツコツとやっていきたいと思います。来シーズンはこの悔しさをバネにして、飛躍していきけるシーズンにしていきたいと思います。今年1年、本当にありがとうございました。

今季、来期について

木村 岳史



2019年度の振り返り
チーム全体としては結果を残すことが出来なかったとても悔しい年になりました。
私個人としては、チャンスを生かすことが出来なかった年だと思います。
昨年度に比べて試合の出場機会は多かったのですが結果を残すことが出来ませんでした。
それは練習不足が一つの理由だと思います。
そこに関しては自分で時間を作ればどうにかできることでした。
2020年度の抱負
そんな後悔を踏まえて来期は「まずやる」をモットーに自分で工夫して時間を作り、
平日のトレーニングから頑張りたいと思います。
プレイ面では、私はラグビー理解度が低いので日ごろからラグビーの試合を見る。

ちょうど良いことに昨年のラグビーワールドカップ以降地上波でも試合を放送するようになり見やすい環境になっています。

上記のことを踏まえて来期も頑張りたいと思います。

2019年シーズンを振り返って

鈴木 裕也



2019年度の振り返り
2019年シーズンは、大きな怪我もなくでき、試合に出れたことがよかったです。
ですが、全国大会1回戦で負けてしまい、悔しさだけが残り終わってしまいました。
今振り返ると、自分への甘さが出たり、練習姿勢を変えることはできたと思います。
2020年度の抱負
来シーズンは、昨シーズンの自分への甘さ・練習への姿勢を見直し、
平日のトレーニングや週末のグランド練習を取り組み、全国大会でいい成績を残したいと思います。

2年目

瀬谷 基浩



2019年度の振り返り
今年度は大変お世話になりました。
今年度は、昨年と違う試合のシステムになりプロップでもパススキルが必要となるシステムになりました。
高校から大学とパスができなくて避けてきた僕からしたら嫌なシステムでしたがコーチの方々が分かりやすく教えてくれたおかげで少しずつですがパスが出来るようになり、改めてパスの重要性に気づきました。
2020年度の抱負
来年度の抱負は、昨シーズンを通して体力面が圧倒的に低下しているのを痛感しましたので体力向上のために日々のウエイトトレーニングの積み重ねとスクラムでの技術向上をするために色々なスクラム動画を見て改善していきたいと思います。

虹のように、、、

葛目 篤郎



2019 年度の振り返り

・色んな面を含めて、心身共に疲れたシーズンでした。

昨シーズンは、まったく試合に出場することが無く暇でしたが、今シーズンは出場回数が多かったので楽しめました。

2019 年に関わった全ての人に感謝したいです。ありがとうございました。

2020 年度の抱負

・体調管理に気を付けて、楽しく元気にみんな仲良くワイワイと笑顔で頑張りたいと思います。

お酒控えます。

みんなの事、愛しています。

痩せます。早寝早起き！！

皆さん、今年も宜しくお願いします！！

今年度の振り返りと抱負

宮澤 歩樹



2019 年度の振り返り

2019 年度は A チームとしては悔しいシーズンになってしまいました。昨年度私は 1 年目でクラブ選手権優勝を経験し、バーバリアンズはクラブレベルでは負けないチームだと感じていました。しかしながら今年度は 1 回戦で敗退してしまい、バーバリアンズは他のチームと変わらずしっかりと準備をしなければ負けてしまうということが経験できました。自分個人として相手をなめていたつもりはありませんが、最高の準備をして試合に臨めていませんでした。今年度の反省を踏まえ来年度はどんな相手でも常に最高の準備をして試合に臨みたいと思います。

2020 年度の抱負

来年度は右プロップに挑戦しようと思います。現状 A チームのフロントローはほぼ固定されていますが、けが等のアクシデントが起きた時のために複数ポジシ

ョンで組める選手が多くいたほうが良いと思います。また、右プロップを組むことで現在の左プロップに還元できる部分もあり、プレーの幅が広がると思います。まずは春先の全道大会などでプレーできるように準備したいと思います。

2019 年シーズン

関 拓矢



2019 年度の振り返り

2019 年はあっという間にシーズンが終わって、自分自身がバイスカプテンに選んでいただいた年にこのような結果になってしまい、本当に申し訳ない気持ちです。年末年始休みのあと、一発目の試合というのがありますが、チームとして試合に臨むような気持ではなく、全国では、勝てるだろうと相手をなめて試合をした結果、今回のような結果になってしまいました。

試合中もチーム状況を修正できず、自分たちの力不足だなと感じました。

2020 年度の抱負

今回の敗戦を糧に、今後の練習にも一層力を入れて、全国に向けていい準備ができるよう、チーム一丸となって同じ方向に進めるよう頑張ります。2020 年こそは勝って笑顔で終われるよう精一杯頑張っていきたいと思います。



1 年目

佐賀 湧太郎



2019 年度の振り返り

2019 年度を振り返って、自分は今年 1 年目ということもありあまり積極的にプレーすることができませんでした、その代わり練習の準備片付けを積極的に行いました。春先は A チームのスタートとして試合に出場させていただける機会が多かったのですが、試合で自分のやりたいこと、持ち味が出せずアピールすることができなくリザーブで試合を外から見ている時間のほうが多かったです。最初は悔しかったですが試合を見ている時間が長かった分、BB の先輩方の素晴らしいプレーを見ることができたのが 1 年目の自分にとってとてもよかったです。

2020 年度の抱負

2020 年度はコロナウイルスの影響で、スタートが遅れましたが、グラウンドに出られない分クロスフィットでトレーニングを重ね去年からの課題であるフィジカル面を強化して行きたいと思います。

シーズンが始まれば試合が多くなっていくので、積極的なプレーでたくさんアピールしていきたいと思います。

今年は去年出られなかった国体に出場することも視野に入れながらやっていきたいと思います。

2020 年度の目標は個人的にはスタートで 1 年間試合に出続ける事、国体に出場すること。チームではクラブ日本 1 位になれるよう頑張りたいと思います。



GOAL OF THIS SEASON

Club Championship

バティヴァカロロ アピサイ拓海



今年にバーバリアンズに入って 1 年が経つが、この 1 年を通してなかなかいい結果がついてきたとは思わなかった。やれること、できることはたくさんあったと思う。今シーズンはもっと上を目指して頑張っていきたい。

今年は新型コロナの影響により例年よりは、練習量や試合数は少なくなると思うがこういう時だからこそ、チームの団結力を深め去年より一層強いチームとなって再度クラブ優勝をしたいと思う。

新型コロナが世界中で広がりを見せているが、バーバリアンズとしてはこれから地域の人や同じクラブの人、キッズの子供たちなど助けを求めている人がいれば手を差し伸べてあげることが大切だと思う。

そのことがチームにとっても大きなプラスとなっている。



再びクラブ日本一へ：ゼロからの再構築

カメラマン 平林 昌憲

A チームの皆さんシーズンお疲れ様でした。今シーズンは不完全燃焼かつ不本意で心残りの多いシーズンだったとお察しします。全国大会では、2016年2月21日に行われた第23回大会の決勝戦@旧熊谷ラグビー場 A グラウンドでの神奈川タマリバクラブ戦以来の1432日ぶりの敗戦。目標の大きく手前で、しかも大差での敗戦となってしまいました。積み重ねてきたものを出し切れないままシーズンを終える事になってしまったのは残念です。

山本周五郎氏が残した言葉にバーバ復活のカギがあるように思います。

「この人生には、無数の教訓が散りばめられている。しかし、どれ一つとってみても、万人にあてはまるものはない。それを教訓にするかどうか、君自身の選択にかかっている」

過ぎてしまった事を悔やんでも仕方ありませんが、きちんと振り返っておく必要があると思います。前半終了時点のスコアは0-17.3トライ差をひっくり返さなければいけない状況でのハーフタイム。後半に追いついて逆転するビジョンは見えていたでしょうか？初めて対戦した相手でミスからの失点もありました。いつもの通りやれば逆転できるよ、という雰囲気はありました。ただし現実には個人の突破はことごとく止められた前半、後半も同じ戦術では突破できるとは思えず、かといって連係プレーについても、どのエリアでどう展開して誰がトライを決めるのか、後半のどの時点で追いついて最終的な点差はどこまでダメ押しするのかまでの確認するための時間がハーフタイムのはずでしたが、後半のゲームイメージを描いて後半のピッチに立たせた選手は何人いたでしょうか？リードされて前半を折り返すことに慣れていなかったとも言えなくはないですが立て直しができなかった点では準備不足と言



えなくはない。一回戦でこうなることは想定外だったとしても、修正できなかったのは何かが不足していたと言わざるを得ない。

全国大会1回戦敗退という結果を受け止め来シーズンに向けて、リベンジ&チャレンジの一年にしないと次の優勝は厳しいものになるでしょう。過去に優勝したクラブチームがもう一度、頂点に再び咲くには思っている以上に時間がかかってしまうのが現実です。もしかして、こんな風に思ってますか？今年のシーズンを振り返って、『一から身体づくりして、弱点だったディフェンスを鍛えて、得点のための強みを強化する』みたいな？今年の準優勝チームが来年の優勝に向けての目標であればそれでいいかもしれません。もう、過去の優勝は過去のもので。現実として北海道バーバリアンズは一回戦で敗退したチームです。全国大会に出場した16チームのうちのひとつではないのです。来シーズンは「いちから」やり直し？！何を仰います！ゼロからです！「ゼロからの立て直し」です！

◇ラグビーは好きですか？どのくらい好きですか？◇バーバリアンズでプレーする自覚と誇りを持っていますか？◇クラブ日本一になりたいですか？◇日本一になるために何をどれだけ犠牲にできますか？◇覚悟を持って2020年シーズンに挑めますか？

全員がもう一度、ゼロから見直すところからがスタートです。選手個々はもちろんチーム全体でもう一度足並みをそろえる必要があります。それをせずに、フィットネスの強化だ、チームの弱点の克服だ、攻撃のバリエーションを増やそう等と考えがちですがそれでは再度の頂点は難しくなるのだと思います。実際に過去に何度も優勝しながら準決勝で涙をのんでいるチームを見ているはず。同じ轍を踏まないようにしたいものです。何のために何をしにグラウンドに向かうのか、何のために練習するのか？をゼロから考えて、クラブ日本一を奪還しましょう！勝つために何をするのか、勝つために何をやるのか、全ては勝つ事を共通の目標に来シーズンに挑んで欲しいと思います。

今年はワールドカップの年でした！

次はオリンピック！コロナ？

Cチーム 織田 達之



今シーズンは何んと言ってもワールドカップの年でしたね。ワールドカップを盛り上げる行事に始まり、ジャパンの試合が終わってから、半分気持ちが悪くて、オールブラックスが三連覇を逃してからは何か私の中のワールドカップは終わりました。今年は本当の不惑大会はワールドカップがあるからと言う事により、次年度へ延期となったにも関わらず、やらないと寂しいからと言うことによる、三不惑大会が毎月ありました。中でもワールドカップの開幕日にワラビーズに帯同しながら観光をするクラブチームのラグーマンが定山溪グラウンドに来て下さり、Cチームと親善試合をして戴きました。ビッグウエールの愛称で知られる『モスマンズ』の面々は陽気で、気持ちの良い、スケールの大きな方たちで、スクラム組んでる時も、サッポロビールと喧嘩ほど、ビール好きの明るい・歌うラグーマンでした。彼らはビールを沢山飲むために、札幌ドームのコンビニに行く、顔パスでビールを飲める様に契約しており、札幌ドームの試合前からコンビニの前で盛り上がり、バーバのメンバーにもビールをご馳走して戴きました。全く持って気持ちの良い（気前の良い）ラグーマンでした。



ワールドカップのお手伝いでオーストラリア、フィジーのチームがホテル入りする時のお荷物の運搬等のお手伝いに行っていました。フィジーとキャンプに来てたトンガのメンバー見比べて、思

ったのですが、違う、似ているけど、違う。何か似てるけど違うと思いました。フィジー何かすらっとしてる。顔もすらっとしてる。トンガごっつごっつしてる。顔も厳ついな。何か強そう。サモア何かふっくらデカイ感じがする。とにかく皆違うような気がした。代表の選手だから結構横柄な感じかと思いきや、重たい荷



物も運んでくれたりとスタッフかと思ったら、グラウンドでプレーしてました。そうだMドクターもグラウンドのピッチに居ましたね。一番の特等席に陣取っていました。

後はYCACを無事に終えれば今年とは終わりに思っていたら、バーバリアンズ納会が3月21日だと言うのです。YCACの次の日だな。もう飛行機取ったから欠席だなあ。と思いながらYCACに向けているおじさん達でした。

それから2か月後COVID virusのお陰で楽しい楽しいYCACの遠征も中止になり今シーズンは浮き沈みの激しいシーズンでした。COVIDに気を付けてトレーニングを慎ましくしている今日この頃でした。以上。

2019年度を振り返って

池 史直



選手の皆様、スタッフの皆様、1年間

本当にお疲れ様でした。今年はラグビーワールドカップが日本で開催され、めったにない貴重な体験をいたしました。ラグビーは魅力的なスポーツで社会に活気を与え、人々を明るくすることを再認識させていただきました。チケットの売れ行きやテレビの視聴率も良く、「にわか」と呼ばれる（自らも自称している？）ファンが激増したことも印象に残りました。この「にわか」ファンを本物のファンに変えていくことがラグビーに携わるものとしてなすべき課題であると認識しております。そこで、地域の受け皿である北海道バーバリアンズの重要性も今まで以上に増してくると思います。一般の人が一番近くにあるラグビーがバーバリアンズのラグビーであり、ラグビーに注目が集まっている今だからこそ魅力的で素晴らしい環境を提供していく必要があると思います。来年度はもっとクラブへの関りを増やして貢献していきたいと思っています。

もう K 点超えてるんじゃないですか？

機会飲酒部美味しいお店探索課

1 人で行く係

本間 俊一



2019 年 W 杯が日本で開催された

お陰で、職場でも「ラグビーって面白いですね。でも、あんな凄いことやってるんですか？」などと声をかけられるようになり、ラグビーの認知度が上がり、それはそれで良かったのだが、あんな凄いコトはやってないですよ。出来るはずないし、そこで痛感したのは自らの「老い」と「衰え」ですかね。そりゃそうですよ、50 超えてるんですから。

日々、トレーニングに励んではいるつもりですが、気が付けば付いていくのがやっとの状態……。これはもうラグビーやってる場合じゃないですね。前歯も入れ歯になっちゃいましたしね。

決めました。2020 年からは有感戦と不惑大会、これすらついていけるかどうか疑問ですね。

そう感じたときはキツパリと辞め時かなと。今後は別の関わり方を模索しようかなと思っております。

ラグビー以外にも楽しいことは転がってるんじゃないか？ラグビーボールみたいに何処へ転がるかわかんないんじゃない困りますけど。でも、それはまた別のお話で……。

夜の K 点はいつになったら超えられるのやら……。で、K 点って何ですか？

Enjoy Rugby!!



仲澤 亜紀子

中学生のみなさん、1 年間お疲れ様でした。

小関コーチの鬼ランに文句も言わず、むしろ少し楽しんでいる感すらある中学 3 年 2 年の先輩達、下級生にアドバイス、体現する姿がとても頼もしかったです。チームでの人数が少なく、大会では合同チームでの参戦でしたが、それぞれみんながラグビーを楽しみ活躍している姿が、見ていてとても気持ち良かったです。

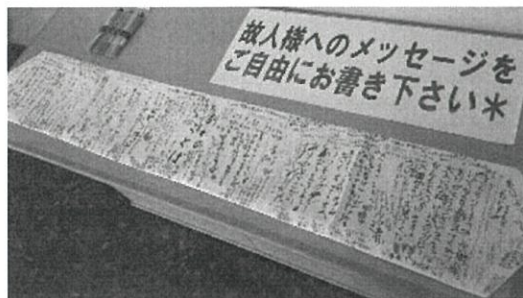
中学 1 年生は、小学生の頃のプレーが抜けない面もありましたが、パス、タックルの精度も上がってきました。コミュニケーションを取るのがまだまだ苦手なので練習では声を出すこと、“仲間同士で共通の意識を持つこと”が出来るようになると、ラグビーをすることが楽しくなるしチームが強くなるので、みんなもっともっと楽しめるように頑張ってください。

自分自身はというと、もっと怪我や脳震盪のないように、しっかりと選手の身体づくりの手伝いをしていきたいと思っています。2020 シーズンもみんな頑張ってください！！

中学校を卒業するメンバー、高校を卒業する OB、お空に旅立ったコーチ、どこにいてもみんなバーバリアンズファミリーです。Enjoy Rugby!!!



菊地コーチ、ありがとう



ジュニア代表

阿久津 孝夫

これまで赤本に特別に寄稿することはなかったのですが、今回ばかりは今の思いを文章として残したいと思い、投稿させていただくことにいたしました。

私たちの大切な友人である菊地コーチが11月21日に突然この世を去ってから早くも4ヶ月が経とうとしています。一報を受けたときにはにわかに信じられませんでした。葬儀の前日に菊地コーチのお宅に伺って、居間に横たわっている菊地コーチを見たときに現実を突きつけられ、ただ黙って頬を撫でてあげることしかできませんでした。その後、少々菊地コーチの奥様とお話しさせていただきましたが、会話中にいろんな思い出がよみがえり、涙が止まりませんでした。

菊地コーチの顔はとても穏やかで奥様もなんだか微笑んでいるように見えますよねと仰ってました。きっとすぐ傍で二人の会話を聞いて笑っていたのだと思います。

菊地コーチと自分との出会いは正直言って思い出せません。気がついたらバーバリアンズのおじさんチームと一緒に試合に出たり、ジュニアで子供たちに指導したりしていた感じです。試合の時にはセンターとしてボールを持って突っ込んでいたり、逆にボールを持っている相手によくタックルに行ったりしていました。菊地コーチは体がそれほど大きくなかったので派手なプレーはあまりありませんでしたが、運動量が豊富で結構ボールに絡んだり、ポイントの起点になっていたように思います。試合前のアップでアキレス腱を切って試合に出られないなどお茶目な面もありましたが。

ジュニアのコーチとしては、ちょうど今から10年くらい前に、菊地コーチの長男と自分の次男が同級生だったため、一緒に幼児コーチとして子供たちの指導を始めました。菊地コーチは小さい子供たちへの教え方が上手で、オーバーアクションで子供たちを笑わせたり、抑揚をつけた話し方で子供たちの興味を引きつけたりして、子供たちを飽きさせない工夫をしていました。練習メニューも毎週いろんなことを考えてきて子供たちが楽しみながら取り組めるようにしていたと思います。子供たちに対する姿勢も、子供たちが話しかけたら熱心に耳を傾けるし、練習の合間には子供たちに反省させたり考えさせたり、いつもまじめに向き合うようにしていました。今の自分の子供たちへの教え方や接し方は菊地コーチから学んだことがとても多いです。菊地コーチと自分は、自分たちの子供が大きくなっても、一緒に小さな子供たちを指導してきました。小さい子供たちの指導を希望するコーチが少ないこともありますが、菊地コーチも自分も小さい子供たちにラグビーを教えるのが楽しかったからです。菊地コーチは間違いなく小さい子供たちが好きだったと思います。だから、小さい子供たちにも好かれていたのだと思います。

その証拠に菊池コーチの葬儀に子供たちがたくさん来てくれました。会場に人が入りきれないほどで、小さな子からかつて菊池コーチに教えてもらった子まで本当に多くの子供たちが菊地コーチにお別れをしに来てくれたのです。

自分もこんなにたくさんの人が来る葬儀はあまり見たことがないくらいでした。葬儀会場では寄せ書きの布が用意され、子供たちの感謝の言葉で埋め尽くされて

いました。

菊地コーチが亡くなられた原因は大動脈解離で突然亡くなられたと聞きました。語弊があるかもしれませんが、実は、羨ましい死に方だったのかもしれない。よく、ピンピンコロリが一番いい、病院に長く入院したり、体にチューブをたくさん入れられたりせずに、死ぬ直前まで元気に好きなことをして周りにあまり迷惑を掛けずに死にたいという話をよく聞きます。そういう意味では菊地コーチの死に方は理想的なのかもしれません。でも、あまりに早すぎました。享年52歳。あと20年くらいは一緒にグラウンドでラグビーを楽しめれば良かったです。少し生き急ぎ過ぎてしまったのでしょうか。去年はラグビーW杯がありました、息子さんと一緒に何試合も内地のスタジアムに出かけたりしていたようです。フェイスブックにたくさん楽しそうな写真をアップしていました。W杯を満喫している

ようでもとても羨ましかったです、後から考えると人生の修学旅行を楽しんでいたのかもしれない。

こうやって振り返ると、菊地コーチは本当にラグビーが好きだったんだと思います。そして、本当に『いい奴』でした。いつも笑顔で、人柄がよく、一生懸命で。一緒にいて楽しかったことしか思い出せません。その『いい奴』がいなくなってきた心空洞をなかなか埋めることができませんが、いつまでも悲しんでいたら「ちゃんと子供たちを指導してやって!!」と叱咤される気がします。菊地コーチから学んだことを生かしてラグビーを楽しむ子供たちをもっと増やして、いつかは天国で菊地コーチにパーバJJrをこれだけ盛り上げたんだよって報告できるようにあらためて取り組んでいこうと思います。菊地コーチ、これまで本当にありがとう、これからも天国で見守っていて下さい。



Diana

お世話になりました

ヒューズ シェアリィ アイダ



高校 3 年の秋、ラグビーを始め
たくさんのことを学び、バーバリアンズでは素敵な経験
をさせていただきました。

ニュージーランドにラグビー留学をしに行ったり毎年
いろいろな地域で試合をしたり、素敵な上司や、チー
ムメイト、トレーナーさん、コーチに出会うこともで
きました。そして、今まで経験したことなかったキャ
プテンを任せてもらうことになりました、その中で辛
い時期もありましたが周りからの熱いサポートのおか
げで、人として選手として成長することができました。
怪我が多い 5 年間でしたがとても楽しくラグビーをす
ることができたのはディアナだったからかなと思いま
す。

ありがとうございました。

今後のバーバリアンズの活躍を楽しみにしています！

今シーズンを振り返って

小笹 知美



今シーズンも新しいメンバーを迎えて
の太陽生命シリーズでした。

あまり練習もできない中で大会となりチームとして
中々試合で勝ちきれないことも多く、苦しいシーズン
となりました。個人としてもプレーにムラがあり、チ
ームが苦しいときに立て直すことも出来ず悔しさだけ
が残りました。

来シーズンは新しいコーチも迎えてのシーズンとなり
ます。

今シーズンの反省を生かして、チーム苦しいときにど
れだけ全員で立て直せるか、全員でラグビーを楽しみ

ながら試合、練習に取り組めるかが重要になってくる
と思います。まだチームとしての目標などは決まってい
ませんが、目標を達成するために全員が同じ方向に
向かっていけたらいいな~と思います。

日頃からグラウンドの整備・管理をしてくださる方々、
ピリカモシリなど定山溪での試合の時に運営、設営を
してくださる方々のおかげでいつも快適に活動が出来
ています。本当にありがとうございます。



2019 年度の振り返り

三枝 千晃



前半はけがで全然プレーできません
でしたが、10月に復帰することができ
ました。時間かけてリハビリさせても
らって、トレーナーさん、チームのみんなに感謝して
ます。

また、今年はディアナ 1 年目でしたが、みんなが優し
く迎え入れてくれて、楽しくラグビーすることができ
ました。1 年間ありがとうございました！

2020 年の抱負

今年はチームとしては 5 月から始まるセブンズの 4 大
会、そのあと 7 月にあるピリカモシリで、優勝目指し
て、4 月から合流する外人のメンバーも含めて、ディ
アナ全員でがんばっていきたいです。個人的には、今
年は復帰して初めてのシーズンになるので、怪我なく
プレーし続けたいです。

はじめてのこと

岡村 由惟



今シーズンは Diana として 4 度目のシーズンとなりました。強力な日本人メンバーが合流して臨んだ太陽生命シリーズでしたが、総合 9 位という残念な結果で終わりました。決して他のチームからすごく劣っているわけではなくて、ここ一番の接戦に勝ちきれなかったり、1 つ 1 つの試合で 14 分間集中し続けられなかったりしたのが敗因だと思います。優勝も夢ではない！と手ごたえを感じました。太陽生命が終わって、外国人メンバーはそれぞれの国へ帰国し、私たちは茨城国体ベスト 4 を目標に練習に励みました。10 人中 9 人が Diana のメンバーでした。昨年度の福井国体では予選敗退だったのが、今回は 3 位で銅メダルを獲得することができました。勝つってこんなに気持ちいいんだなあ〜と身をもって実感しました。

個人的には 6 月に人生初の骨折を経験して、ピリカモシリに出られなかったことが、私のラグビー人生で 1 番悔しい出来事でした。私が試合に出れないことで残念がってくれる人もいたことがすごく嬉しくて、陰で応援してくれている人がいるんだなーって、また次に向けて頑張らなきゃと思えました！

また、今シーズンもピリカモシリの開催に伴い、たくさんの方々にご協力いただきました。いつも大成功に終わるのは皆さまのご支援あってこそその賜物です。本当にありがとうございます！今年はオリンピックイヤー！みんなで盛り上げていい大会にしましょう♪

来シーズンの目標は、今年こそ太陽生命で優勝することです！優勝したら定山溪でビールかけします！是非、皆さまもご参加ください！笑
来シーズンも BK でも FW でも使ってもらえる Player として、チームに貢献できるように成長していきたいです(^^)

また、来シーズンは今まで経験したことのない立場でチーム向き合っていくこととなります。私では少し頼

りない気がしますが、メンバー全員がバーバリアンズの一員で良かった！と感じられるような楽しいチーム、ラグビーだけじゃなくて人として成長できる場をつくってみたいです。



「昨シーズンを通して」

木村 あや



昨年度を通してサポートしていただいた方々、本当にありがとうございました。

昨シーズンの太陽生命ではどのチームもレベルが上がっており、結果として総合 9 位となりました。一方シーズン後半の茨城国体では 3 位となり、今まで出場した国体の中では 1 番良い結果を収めることができました。スキルの高い選手達と練習や試合を重ねられたことや、細かいスキルを教えてくれたコーチ達のおかげで成長点と課題点が多く見つかりました。さらに国際試合も含めて様々な試合に出場することができ、試合経験を積めたことをとてもありがたく思います。

今シーズンは新たなメンバーやコーチが入ってきて、どのようなチームになるのかがとても楽しみです。自分の課題にしっかりと向き合い、昨シーズン得られたことが無駄にならないようしっかりと準備していきたいです。またチームとしてもお互いに高め合っていくよう、練習中からもっと意識していきます。今年はオリンピックイヤーとなり女子ラグビーにも注目が集まるとは思いますが、そんな中 Diana もチームとしてしっかりと確立し、たくさんの方々に応援してもらえよう精一杯頑張ります。今年度もよろしくお祈りします。

ラストシーズン

清水 茜



シーズンが始まる頃から引退を考えていました。悔いのない1年になるように精一杯過ごそうと思ってシーズンに臨みました。ラグビーに関してはできなかったことがたくさんで、できたことはほんの少ししかありませんでしたが、それでも1年走り続けることができて良かったです。引退を決めて前のチームを辞めましたが、それでもディアナに来て、もう一度ラグビーをしようと思え、みんなとラグビーできたことに悔いはありません。

2019年をもって選手を引退をしました。

たくさん怪我もして辛いこともたくさんありましたが、みんなとラグビーできたことはかけがえのない宝物になりました。これからもバーバリアンズの活躍を願っております。

たくさんの方達にお世話になりました。田尻さんはじめ、サポートしてくださった皆様ありがとうございました。

休息

押切 麻李亜



今シーズンは、シーズンが始まってすぐに怪我をしまい、思い返すとほぼりハビリをしていた記憶がありません…。モチベーションが上がらなくて、悩んでいた時期もありましたが、いつも Diana のみんなに支えてもらい乗り越えることができました。本当に感謝しています！！

今シーズン課題としていたパス・キャッチはいまだに下手ですが、全体的にみると少しは成長することができたのかなと思います。また、Bangkok Sevens での優勝と、国体で3位に入賞できたことは、すごく良い経験になりました。

私は今シーズン限りで競技から離れてしまうのですが、バーバリアンズのファンとしてこれからもずっと応援

しています！今までサポートしていただいたスタッフの皆様、そして Diana のみんな、本当に本当にありがとうございました。



2019年シーズンを振り返って

田中 怜恵子



2019年度の振り返り

昨シーズンは3月から8月までの

半年間、ニュージーランドのクライストチャーチへのラグビー留学をさせていただきました。高校卒業以来、クライストチャーチにて参加していたラグビープログラムに戻りもう一度本場のラグビーを勉強し、カンタベリー大学ラグビークラブ、カンタベリー州代表で活躍することを目標に抱いていたので今回の留学を実現するにあたり皆様には沢山のご支援ご協力頂き、本当に心から感謝しております。州代表には届きませんでしたが、クラブシーズン中のプレーが認められ、州代表ディベロップメントチームに召集してもらい他州の代表チームとの試合を経験することができました。

参加したラグビープログラムや州代表レベルの練習から各チームの組織運営やコーチング法などを学ぶことができたので帰国後は2020年シーズンのチームに多くのことを伝えていきたいと思います。

2020年度の抱負

昨シーズンは太陽生命シリーズを8位で終わりましたが、国体では3位という成績を収めることができたので日本人選手たちのスキルが通用するレベルまで成長してきていることを自分たちでも感じる事ができた大会となったのではないかと思います。冬の練習ではなか

なか広いスペースでの練習が難しいので例年と同じように5月の第一戦はチームにとって厳しい大会となると思いますが、4月から来る外国人選手達とコミュニケーションをよく取り、意識統一をしていいスタートを切りたいです。ニュージーランド留学にて学んだことを活かせるように頑張りたいとともに、またディアナのジャージを着て選手たちとプレーができることがとても楽しみです。

2020年シーズンもどうぞよろしくお願い致します。



2019

佐藤 優

いつも応援、支援してくださる皆さんありがとうございます。

私にとって2019年シーズンは、新しい環境、新しい仲間にあたたかく出迎えられて、素晴らしい環境で大好きなラグビーを満喫することができ、キラキラ輝くシーズンになりました。

太陽生命での結果だけを見ると納得のいく結果ではなかったですが、セブンスは負けても次のゲームがあるので「切り替えの大切さ」や「苦しい時に感じる仲間の強さ」を改めて学びました。ピリカモシリや、国体や、海外遠征では、いつもと違った雰囲気の中でも負けず、接戦のなかで勝ったり、負けたり、2020シーズンに繋がるいい緊張感の中で素晴らしい経験もできました。

コロナウイルスの影響もあり、どんなシーズンになるのかドキドキしていますが、精一杯戦い抜きたいと思っています。2020年も応援の程、よろしくお願いいたします。



百折不撓

吉井 愛華



高校ラストシーズン。Dianaの

みんなと試合に出れることは少なかったけれど国体3位、バンコクセブンス優勝など一緒に出た大会で結果を残せたことをとても嬉しく、誇りに思います。そして優勝に直接携わることが出来なかったことが悔しくもあります。ピリカモシリ連覇を目の前で見ることができ嬉しかったです。

高校の方では北海道キャプテンに選出。コベルコカップでは北海道最高成績を残すなど良い経験をさせて頂いた反面キャプテンという立場の難しさともどかしさも知りました。

この3年間ラグビーをやめなくなる時も1人悔し涙を流すことも多くありました。しかしラグビーをやる楽しさ、勝った時の嬉しさ、負けた時の悔しさ。何もかも私に教えてくれプレー面も精神面も大きく成長させてくれたのは紛れもなく一緒にプレーし続けてくれた仲間のおかげです。3年間恵まれた環境と最高の仲間の下でラグビーができたことに感謝したいです。

私はこれから自衛隊に入り人生において新たなスタートを切ることとなります。これまで通りラグビーを続けるのは難しいと思いますが高校生と社会人という障壁もなくなる新たなシーズン。みんなと一緒に試合に出れる日を楽しみに頑張りたいです。



SAKURA IZAWA

井澤 さくら

初めまして！井澤さくらと申します！昨年の9月から北海道バービアンズディアナに選手として入団し、仕事はブライアンブルー南1条店で働かせていただいております。



1996.10.15/Age23/163 cm 60 kg/てんびん座
ポジション/FW(PR,HO,LO)出身/栃木県

経歴

2003-2009 佐野少年ラグビースクール
2009-2012 栃木県ジュニアラグビークラブ
2012-2015 栃木県立佐野高等学校
2015-2017 東京フェニックス(現 東京山九フェニックス)
2017-2018 ワーキングホリデービザでニュージーランドに1年間留学

ラグビーを始めたきっかけは父と兄でした。ニュージーランドでラグビーをする事が小学生の時にラグビーを始めてからの自分の目標であり、夢でした。

その夢を叶え、ラグビーを続けるかどうか迷った時に以前から魅力的なチームだと思っていたバービアンズディアナに入団すること決めました。

ニュージーランドから帰ってきてから約1年、間が空いてしまったのにも関わらず

快く受け入れてくださったチームと関係者の方々には深く感謝しております。

昨年ではタイ遠征に行かせていただいたのと、オーストラリアの大学生チームと試合をさせていただきました。

久々のラグビーだったので思ったように体が動かなくてだいぶへばりましたが、チームでの初めての試合はいい緊張感でとても楽しく、チームが私のことを沢山フォローしてくれたおかげで本当に楽しいラグビーができたと思っております。

いよいよ今年5月、チャンスがあれば2大会ぶりの太陽生命ウィメンズセブンズカップにディアナとして出場することができます。

ニュージーランド帰国から路頭に迷い、トレーニングもラグビーもしていなかった時期のおかげでラグビーを忘れかけていました。

気持的には初心者のように“STAY HUMBLE”常に謙虚に、

チームにも相手にも“LOOK DOWN”見下すことなくてせずに、

みんなをリスペクトして、最高に楽しいラグビーを此処でしたいと思っております。

どうぞよろしくお願い致します！！

経験

近藤 瑛納

2019は高校生ラストの年でした。

KOBELCOや熊谷セブンスにも出させていただき自分の無力さに痛感しました。KOBELCOでは関東と合同チームで練習量の差やスキルの差が大きくて中々で得失点差で優勝ができ嬉しさと申し訳なさがありました。

セブンズでは怪我をしながら参加したため、少ししか試合に出れませんでした。キャプテンをしてもらった愛華を中心にチーム全体良い終わり方ができました。

その他、ラグビー以外にもたくさんの貴重な経験ができました。また、怪我で十分にラグビーをすることが出来なかったことが一番の悔しい所です。2020は大学生になるということもあり、勉強とラグビーの両立が目標です。高校生の時より練習に参加できる機会が減ってしまうかもしれませんが、リハビリを頑張り少しでも練習に参加したいです。あと、同い年の愛華の分もラグビー頑張りたいと思います。



トンガ代表の定山溪キャンプ

西野 一弥

ラグビーワールドカップ日本大会に参加したトンガ代表が2019年9月16-23日、定山溪グラウンドでキャンプを行いました。札幌ドームで行われたボール戦の札幌大会2試合（オーストラリア-フィジー戦、トンガ-イングランド戦）に出場する4チームのために大会組織委が準備した公認キャンプ地4会場の一つとして、トンガ代表を定山溪グラウンドに受け入れました。

キャンプは天候にも恵まれ、順調に行われました。キャプテンのシアレ・ピウタウ選手、体重151キログラムのベン・タメイフナ選手、ナンバー8のマーマ・ヴァイブル選手はじめ31選手が参加。宿泊先のホテルからグラウンドまで歩いて移動するリラックスしたムードの中にも、選手たちは早朝からジムでウエートトレーニングに励んだり、練習がオフの日でも個人練習をしたりするなど、南国のおおらかなチームのイメージとは異なる、実に規律の高いチームでした。

トンガ代表の初日の練習は、グラウンド整備に携わる者にとっては衝撃的で感動的なものでした。タメイフナ選手を筆頭に巨漢揃いの選手たちがウオームアップを始めたのはインゴールの外でした。トンガ代表はグラウンドの入り口から最も遠いサブグラウンド側のインゴールの外側で、ウオームアップを始めたのです。その後もフォワードのラインアウト、バックスのパス回し、全体練習のメニューも決して同じ場所で繰り返すことなく、芝生を酷使しないように配慮した練習が自然にしかも流れるように続いていきました。



定山溪グラウンドを使う普通のチームはグラウンドの入り口に近いタッチラインか、あるいはグラウンド中央付近でメニューを始めます。トンガ-イングランド戦のJSPORTSの中継で、解説の藤島大氏が「トンガの選手たちの練習が定山溪グラウンド関係者を感じていました」と紹介してくれましたが、トンガ代表の練習は芝生に配慮した見事なものでした。定山溪グラウンドの維持・管理をお願いしている北日本ターフマネジメントの阪内社長は「芝生のグラウンドをよく知っている、見事な使い方。感服した。コーチから選手まで実に芝生のグラウンドのことをよく知っている」と驚きの声を上げました。

バーバリアンズの関係者には「トンガの選手はガタガタのグラウンドで育ったのだから、きちんと整備した芝はいらない」と心ないことを言う人がいたのですが（実はその中の一人はすっかりトンガ代表の記念写真と一緒に収まっています）、トンガ代表は「国際競技場レベル」に整備した芝生のグラウンドに最もふさわしい人たちでした。とはいえ巨漢揃い、猛烈な脚力です。激しい練習で芝は傷みました。「一日でこんなに傷むのか」。ワールドカップに出場する選手たちのパワーの凄さに正直、驚かされました。

スクラム練習でも驚きがありました。選手たちの膝が地面にすれすれになるような、ものすごく低い姿勢で組んでいました（力が凄すぎて当然、芝は傷みました）。バーバリアンズの若手の手本に見せたいものでし

た。案の定、イングランド戦ではトンガがスクラムで優位に立っていました。また、トウタイ・ケフヘッドコーチは私たちの求めに応じて定山溪グラウンドの証拠となる記念のサインを残してくれました。

ワールドカップ日本大会では、トンガ代表は、最終戦の米国戦に勝ち、1勝3敗のプール4位に終わり、やや振るいませんでした。ただ、フランス戦では21-23で惜敗。札幌ドームでのイングランド戦では3-35で敗れたものの、試合終了間際にイングランドゴール前に迫り、「トンガ」コールが沸き起こるなど札幌ドームを埋めた3万5923人の大観衆を沸かせました。その力強い突進は日本のラグビーファンに強い印象を残したと思います。南太平のワシ「イカレタヒ」の愛称を持つトンガ代表のキャンプは、私が予想した南国の人たちはおおらかで規律は多少緩いチームという勝手な思い込みを裏切る、リスペクトをするに相応しい素敵なチーム、人たちでした。



日本大会に向けてグラウンド管理責任者として全国の12試合会場と52公認キャンプ地を回ったキース・マカルフィー氏は、定山溪を訪れた8月24日の組織の最終確認調査の際、「このグラウンドほど努力したところはない。周囲の環境を含めて最も素晴らしいラグビーサイトであることはスタッフの意見が一致するところだ」と最大限の賛辞を送ってくれました（リップサービスもあったでしょうが）。ラグビーワールドカップ日本大会の2019年、トンガの心優しき巨人たちが訪れた定山溪は、日本で最も美しいラグビーグラウンドだった、と自画自賛しています。

公認キャンプ地としてのトンガ代表受け入れに向けては、2017年度から芝生専門業者の北日本ターフマネジメントに維持・管理を委託し、北日本ターフの指揮下で17年春から私が専任担当者として、パートの谷黒さんとともに作業に当たってきました。2017年6月の組織委による視察が行われ、公認キャンプ地に国際競技場レベルの芝生とグラウンド状態を求める組織委の基準と方針が示され、構造上の問題に起因する排水不良に伴う芝生の生育・維持の困難の課題克服の必要性が指摘されました。

組織委の指摘を受け、17年秋にグラウンドの表面排水の改善を図るためのサンドカーテン施工を実施、表土の黒土（10cm）と礫層（5cm）の間にある粘土層（15cm）を破碎するための長さ20cm以上の杭を打ち込むバーチカルドレーン作業を継続的に行ったほか、グラウンド表面の不陸修正のための目土散布も重点的に行ってきました。

「国際競技場レベル」を目指す3年間の努力で定山溪グラウンドの芝は大きく改善しましたが、限界も見えてきました。特に2019年はキャンプ前の1カ月間は例年に比べて雨が多く、グラウンドは土壌中から水分が抜けず、湿潤な状態が続いた。グラウンドが乾かない状態が続くなかで、密生させて育成した芝生に病害が現れ、2週間前に散在的に芝生が溶ける事態になりました。手作業で芝を入れ替えることで切り抜きましたが、グラウンド全面からの雨水を処理する能力が不十分で、短期間で100mmを超える大雨になったときに問題が現れる定山溪グラウンドの限界を露呈しました。来季以降の課題になると思います。

最後に、過去3年間の主なワールドカップ関連のグラウンド整備費をまとめておきます。この中に私と谷黒さんの人件費はありません。すべてボランティアでした。隣の芝は青く見えるとありますが、札幌圏のラグビーワールドカップ関連施設整備費と比べると、その差は歴然です。

2017年

・北日本ターフマネジメント維持管理委託費 800
万円（室内練習場除く）

・サンドカーテン施工 600万円

2018年

・北日本ターフマネジメント維持管理委託費 800
万円

・グラウンド圧雪・除雪費 46万4400円

・サブグラウンド排水改善費用 56万7000円

2019年

・北日本ターフマネジメント維持管理委託費 800
万円

・ゴールポスト延長・修正費用 60万2640円

札幌ドーム 芝張り替え・ゴール設置 = 2億3000
万円

月寒屋外競技場 ゴール改修 = 2000万円

野幌総合運動公園 芝生改良 = 1600万円、ゴール
改修 = 4000万円

白旗山競技場 芝生改良・ゴール設置 = 7675万円
+ 1400万円 + 600万円（600万円は整備失敗）

白旗山競技場・月寒屋外競技場のキャンプ直前・期間
中の維持管理費（補修、ライン引き含む） = 2600
万円

北海道バーバリアンズ ジュニア アイスホッケー



【 ユニフォームを新調しました 】

たくさんの実を实らせて欲しいと願いを込めて「稲穂のロゴ」をプリントしました。

【2019-2020 シーズンの総括 ジュニア アイスホッケー】

北海道バーバリアンズ ジュニア IH クラブ

監督 山田恭之

《 主な活動 》

- ・ 第 28 回札幌少年少女新人アイスホッケー大会
2019年3月 「準優勝」
- ・ 第 60 回札幌市民大会アイスホッケー競技
2019年7月 「優勝」
- ・ 第 13 回札幌ノースライオンズクラブ Cup
2019年9月 「準優勝」
- ・ 第 5 回 泊 交 流 大 会
2019年11月 「準優勝」
- ・ 第 26 回札幌アイスホッケー連盟会長杯
2019年12月 「準優勝」
- ・ 第 40 回全道小学生アイスホッケー選手権大会
2020年1月 「1回戦敗退」

札幌市内の主要大会はすべて上位成績を収め、札幌市民大会では2016年の泊村長杯に続いてクラブ2度目の優勝を果たした。

一見すると安定的に成績を収めているように見えるが、3月開催の新人戦から12月開催の連盟会長杯までの9か月の間、チーム内では熾烈なレギュラー争いが繰り広げられていた。

4月から入部した子どもも含め成長が著しく、公式戦の出場機会が少なくなってしまう子。レギュラーとして安定した活躍ができた子。試合出場とリザーブを繰り返した子。公式大会のエントリー選手が一定でなかった中での上位入賞はチーム全体のレベルが上がってきていることを実感できるシーズンだった。

今シーズンは公式大会の他にも「北海道クラブチャレンジ」という大会にも参加した。これは苫小牧や旭川のクラブ指導者と連携し定期的にリーグ戦を行い、選手のレベルアップ向上を目的とした大会である。この大会で多くの子どもたちに、勝敗抜きでたくさん試合経験を積ませることができたのも好成績を収めることのできた要因だと思う。

4年連続で6回目の出場を果たした全道大会。大会直前に行われた釧路のチームとの練習試合では、敗れはしたものの互角の戦いができ、良い状態で大会本番を迎えたが苫小牧のチームに敗れてしまった。それでも練習試合を行った釧路のチームが準優勝をしたことを考慮すれば、チームの実力は全道レベルでも向上してきている手ごたえを感じた。

《 充実してきたスタッフ 》

昨シーズン、アジアのTOPリーグの「王子イーグルス」でコーチを務めていた今コーチが1年ぶりにバーバリアンズに復帰した。それに加え4月に入部した子の父兄が「元・王子イーグルス（日本代表）」だったこと。10月に入部した子の父兄が「元・王子イーグルス（日本代表）」だったこと。この2名に父兄コーチとして今コーチをサポートしてもらった。これら指導スタッフが充実したことも安定した成績を収められ、選手のレベルアップに繋がった要因であることは間違いないと感じている。

《2020年シーズンに向けて》

今シーズンでチームを卒業する6年生は1名。チームの一翼を担ったのは5年生と4年生であった。チーム的にも、個々の選手もさらなるレベルアップを目指し、5年連続の全道大会を目指し、2012シーズン以来の1回戦突破。そしてさらなる上位成績を目標に掲げて子どもたちと過ごしていきたいと思う。

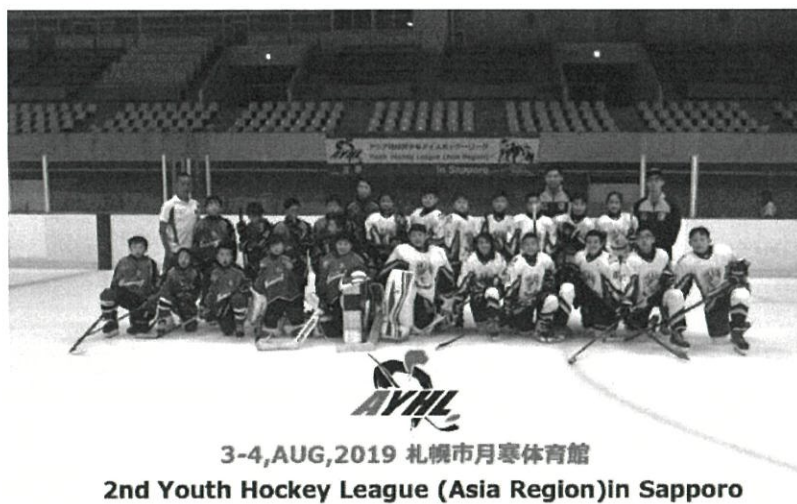
【 第 60 回札幌市民大会アイスホッケー競技 6-7,Jul,2019 】



【 低学年も活躍 8,Sep,2019 】



【 香港チームと国際交流 3-4, Aug,2019 】



北海道バーバリアンズジュニア
Hokkaido Barbarians Juniors

2019 Year Book



2019.9.14～15 スクール大会 in 小樽市望洋



*** 幼児・低学年の部 ***

◇ 活動レポート

幼児担当チーフコーチ 阿久津孝夫

今年度も昨年度と同様に幼児の部を中心にコーチをさせていただきました。

幼児の部は4月の活動開始時には年長3人、年中4人、年少1人、園児未満1人の9人しかメンバーがいませんでしたが、5月の体験会で7人(年長1人、年中5人、年少1人)入会し、その後も継続的にメンバーが増え、9月のスクール大会前には年長8人、年中15人、年少以下5人の28人になってそのままシーズンが終了しました。この間、コーチを増やすことができなかつたため、保護者の中から練習の時にコーチを支援して下さる方にサポーターになっていただき、なんとか大きな事故もなく1年間活動することができました。ご協力いただいたたくさんのサポーターの皆様に感謝申し上げます。幼児の子たちには、ラグビーが楽しい、グラウンドに毎週来たいと思ってもらえるように取り組んできました。なかなか話を聞いてもらえなかつたり、集中力が切れてしまつたり、他の子とぶつかった痛さで心が折れてしまつたり、幼児の子供達とコミュニケーションを取ることの難しさをいつも感じています。一方で、タグ取り鬼ごっこなどをしているときにとても楽しそうに走り回つたり、ボールを持ってコーチをよけて走ってトライしたときに嬉しそうにするなど、そんな時に浮かべるいきいきとした表情を見ていたら、大変なことも忘れてもっと楽しませてあげたいなと思ってしまう。また、幼児でも1年間を通してみると、ものすごく成長していることを感じます。年中の時にはトライする方向を間違えて走つたり、タグが全然取れなかつたりしていた子が、年長になると方向を間違えずに走れたり、タグも取れるようになっていきます。もちろん、子供によって多少早くからできる子と、少し時間がかかる子はいますが。保護者の皆様にはご自分のお子様を見ていただき、できなかったことができるようになったら褒めてあげて下さい。コーチに褒められるよりお父さん、お母さんに褒められた方が幼児の子達は喜ぶますので。新年度も幼児の子達がラグビーが好きだと言ってくれるよう、また、少しでも成長できるように頑張りたいと思います。

保護者の皆様におかれましては、毎週の練習の送り迎え、大会での応援、イベントのお手伝いなどでご協力いただき本当にありがとうございました。新年度も安全面を第一にしつつ、子供たちがジュニアの活動を楽しめるよう取り組んで参りますので、引き続きご支援、ご協力いただきますようよろしくお願いいたします。また、練習内容や指導方法などでお気づきの点がありましたら、いつでもお気軽にお声掛けください。



◇ 活動レポート

低学年担当コーチ 手塚和多留

私としては、今まではコンタクトプレーの指導ばかりだった為、ラグビーに関しては戸惑いもありました。東京から帰省の時だけの参加だった為、子供たちの練習は満足できるレベルでコーチングすることは出来ませんでした。子供たちの親御さんにラグビーの準備や片づけ、また面倒などお手伝いして頂き大変感謝しております。子供たちは、菊地コーチの方針と熱心な指導によって1年間一生懸命ラグビーをやって、大きく成長しました。いつもは、まとまりの無い一年生も大会でのバーリアンズ同士の対戦の時には、ワンチームとなって大金星をあげました。2年生はみんながリーダーシップを発揮してチームの事を考え行動し、試合に臨んでくれました。お父さんや、お母さん達でラグビーの練習をした時は、皆さんが生き生きとしてラグビーを楽しんでいた風景も思い出されます。来期は、もっとお父さん、お母さん達にもラグビーを楽しんでもらえる環境も作りたいと思っております。

一年間ありがとうございました。またグラウンドで会える日を楽しみにしております。来期もグラウンドで楽しんでラグビーをやりましょう。菊地コーチ本当にお疲れ様でした。空の上から子供たちを応援してください。



◇ 試合記録

体文協大会

月日	対戦チーム	得点		大会名・会場	勝敗	備考
		BBJr.	対戦チーム			
8月3日	札幌JRS・帯広RS	25	25	体文協大会・野幌G	△	幼児
"	山の手RS・小樽RS	10	25	"	●	"
"	山の手RS A	20	30	"	●	低学年レッズ
"	SPO・遠軽RS	25	35	"	●	"
"	旭川RS A	35	30	"	○	低学年ブラックス
"	美幌少年団	30	45	"	●	"
"	札幌JRS	10	45	"	●	低学年ホワイツ
"	遠軽RS	15	40	"	●	"
8月4日	小樽・帯広・遠軽	20	20	"	△	幼児
"	旭川RS	15	20	"	●	"
"	BBJr.ホワイツ	20	15	"	○	低学年レッズ
"	帯広RS・札幌JRS	30	30	"	△	"
"	山の手RS A	20	30	"	●	低学年ブラックス
"	山の手RS B	20	25	"	●	"
"	小樽RS	30	10	"	○	低学年ホワイツ
"	BBJr.レッズ	15	20	"	●	"

体文協大会メンバー

低学年 Reds		低学年 Blacks		低学年 Whites		幼児	
内浦 一颯	2年	天野 宗哉	2年	アシュカフト 暖	2年	小川 和真	河合雅來斗
梶川 奏多	2年	橋本 葉平	2年	小川 遥歩	2年	小関 あみ	高津 陽琉
前川 大成	2年	前田 悠清	2年	平間 尊	2年	鈴木 佑芽	三好 美里
佐藤 龍生	1年	海野 龍爾	1年	荒木 道宣	1年	長谷川大虎	嶋田 愛莉
木原 頼人	1年	小原 晴太	1年	鎌田 拳斗	1年	三谷 遙真	前田 清羽
林 春月	1年	齋藤 倅	1年	中西 青澄	1年	小川 颯太	高桑 百恵
				宮本 仰生	1年	小原 隼太	

スクール大会

月日	対戦チーム	BBJr.	対戦チーム	大会名・会場	勝敗	備考
9月14日	BBJr. ブラックス	10	5	スクール大会・望洋G	○	幼児レッズ
"	旭川RS・美幌少年団	25	5	"	○	"
"	BBJr. レッズ	5	10	"	●	幼児ブラックス
"	帯広RS・札幌JRS	10	30	"	●	"
"	札幌JRS	10	15	"	●	低学年レッズ
"	遠軽RS	25	30	"	●	"
"	旭川RS	10	35	"	●	低学年ブラックス
"	帯広RS	20	45	"	●	"
"	山の手RS	20	30	"	●	低学年ホワイツ
"	小樽RS	10	35	"	●	"
"	函館RS	20	35	"	●	"
9月15日	帯広RS・札幌JRS	25	25	"	△	幼児レッズ
"	遠軽RS・小樽RS	15	25	"	●	"
"	旭川RS・美幌少年団	25	20	"	○	幼児ブラックス
"	山の手RS・SPO	10	25	"	●	"
"	山の手RS	35	10	"	○	低学年レッズ
"	BBJr. ホワイツ	35	0	"	○	"
"	SPO・旭川RS	30	35	スクール大会・望洋G	●	低学年ブラックス
"	山の手RS	30	25	"	○	"
"	SPO・旭川RS	35	35	"	△	"
"	BBJr. レッズ	0	35	"	●	"

スクール大会メンバー							
------------	--	--	--	--	--	--	--

低学年 Reds		低学年 Blacks		低学年 Whites		幼児 Reds	幼児 Blacks
内浦 一颯	2年	白戸康太郎	2年	上村 幸功	1年	小川 和真	鈴木 佑芽
梶川 奏多	2年	橋本 葉平	2年	林 春月	1年	小関 あみ	長谷川大虎
前川 大成	2年	前田 悠清	2年	海野 龍爾	1年	小川 颯太	三谷 遙真
天野 宗哉	2年	鎌田 拳斗	1年	荒木 道宣	1年	小原 隼太	上村 幸功
アシュカロト 暖	2年	木原 頼人	1年	小原 晴太	1年	如澤 怜伽	河合雅來斗
小川 遥歩	2年	齋藤 倅	1年	本間 紳士	1年	世羅万音成	高津 陽琉
平間 尊	2年	佐藤 龍生	1年	宮本 仰生	1年	高桑 百恵	三好 美里
		中西 青澄	1年	皆川 広登	1年		丹下 叶慧
		清水 大和	1年	ヤヤウイ リリイローズ	1年		本間 幹大
		ホガード啓志	1年	ライアン サム	1年		嶋田 愛莉

◇ 個人記録(公式戦)

氏名(低学年)	2019 トライ数	氏名(幼児)	2019 トライ数
アシュクロフト 暖	1	小川 和真	8
天野 宗哉	0	川口 杏	0
内浦 一颯	5	小関 あみ	5
小川 遥歩	12	鈴木 佑芽	8
梶川 奏多	7	長谷川大虎	3
腰越 篤弥	0	廣島 祥吾	0
白戸康太郎	0	廣島ななみ	0
橋本 葉平	0	三谷 遙真	4
畠山 晴琉	0	小川 颯大	7
平間 尊	9	小原 隼太	0
前川 大成	6	上村 幸功	0
前田 悠清	5	河合雅來斗	2
赤坂 凪優	0	川口 翔	0
荒木 道宣	0	如澤 怜伽	0
海野 龍爾	0	世羅万音成	1
小原 晴太	0	高津 陽琉	0
鎌田 拳斗	4	丹下 叶慧	1
上村 幸永	1	梨本晴之助	0
木原 頼人	2	本間 幹大	0
齋藤 倅	1	宮木 理玖	0
佐藤 龍生	2	三好 美里	0
清水 大和	3	村松 隼人	0
中西 青澄	1	脇田 奏良	0
林 春月	2	嶋田 愛莉	0
ホガード 啓志	0	廣島 圭吾	0
本間 絆士	1	前田 清羽	0
皆川 広登	0	皆川 賢登	0
宮本 仰生	6	高桑 百恵	0
ヤヤウィ リリィローズ	5		
ライアン サム	2		

◇ 30m走 タイム測定

名前	学年	春1回目	2回目	秋1回目	2回目
梶川 奏多	2年	6.97	6.92		
小川 遥歩	2年	5.96	6.19		
前川 大成	2年	6.87	6.51		
天野 宗哉	2年	8.11	7.81		
内浦 一颯	2年	6.51	6.14		
アシュクロフト 暖	2年	6.91	7.00		
平間 尊	2年	6.41	6.30		
前田 悠清	2年	5.47	5.54		
白戸康太郎	2年	7.62	6.60		
上村 幸永	1年	7.97	7.61		
荒木 道宣	1年	7.32	7.50		
林 春月	1年	6.38	6.63		
清水 大和	1年	7.43	7.33		
齋藤 倅	1年	7.50	8.19		
宮本 仰生	1年	7.03	7.54		
小原 晴太	1年	7.48	7.74		
ライアン サム	1年	7.14	7.06		
中西 青澄	1年	7.49	8.30		
ホガード 啓志	1年	8.20	10.05		
鎌田 拳斗	1年	6.31	7.26		
木原 頼人	1年	7.63	8.14		
海野 龍爾	1年	8.37	7.82		
小川 和真	年長	7.70	6.70		
鈴木 佑芽	年長	7.42	8.08		
小関 あみ	年長	7.05	—		
上村 幸功	年中	10.05	10.88		
丹下 叶替	年中	10.06			
小川 颯大	年中	7.86	7.61		
三好 美里	年中	10.66	11.78		
如澤 怜伽	年中	30.00	—		
河合雅來斗	年中	7.95	6.97		
小原 隼太	年中	9.97	9.24		
嶋田 愛莉	年少	10.31	11.60		
前田 清羽	年少	9.42	10.69		
高桑 百恵		10.28	10.87		

*** 中学年の部 ***

◇ 活動レポート

中学年担当チーフコーチ 小松 武敏

2019年度の中学年は、「ラグビーを楽しむこと」「個人技を磨くこと」「仲間と協力すること」の3つを目標として、4年生17名・3年生18名の35名メンバーで1年間活動しました。中学年のコーチは初めてでしたので、どんなことを教えてあげれば子供たちがラグビーを楽しんで貰えるのか、週1回2時間の練習なかにテーマをもって、次回の練習にも繋がるようなメニュー構成を考えていき、子供たちの笑顔を想像しながらあれこれ考えていると私自身も楽しい気持ちで参加することができました。

ラグビーの練習を通して子供たちに養ってもらいたかったことは、自分で考え行動すること、何ごとにも全力で取り組むこと、感謝の気持ちを忘れないことです。練習中には口を酸っぱくしながら言っていたつもりでいますので、コーチ達の思いが伝わったのではないかと思います。仲間と話し合いながら考え試合の戦術を決めたり、最後まで全力でプレーする体力が付き試合の終盤でトライをする機会が増えたり、特に4年生は、良いプレーや悪いプレーなどのお手本を見せてあげる姿が増え、仲間のために自分から行動できるようになりました。そういった姿をみることができ本当にうれしく思います。3年生は、タグラグビーから、タックルのあるミニラグビーになり、春先は戸惑うこともあったかと思えます。文句を言いながらも4年生と一緒に体幹トレーニング、10分間フィットネスや70M走などの基礎トレーニングも1年間続けてくれました。目に見えるように上達し、自信につながったのではないかと思います。ステップを踏むこともうまくなったし、タックルやラックのオーバーもできるようになり、4年生からでもトライを取れるようになり大きな成長を感じています。ランニングパスはもっと練習をして上手くなってくださいね。来年は、先輩がしてくれたこと見本として新3年生にはいろいろなことを教えてあげてください。宜しくお願いします。

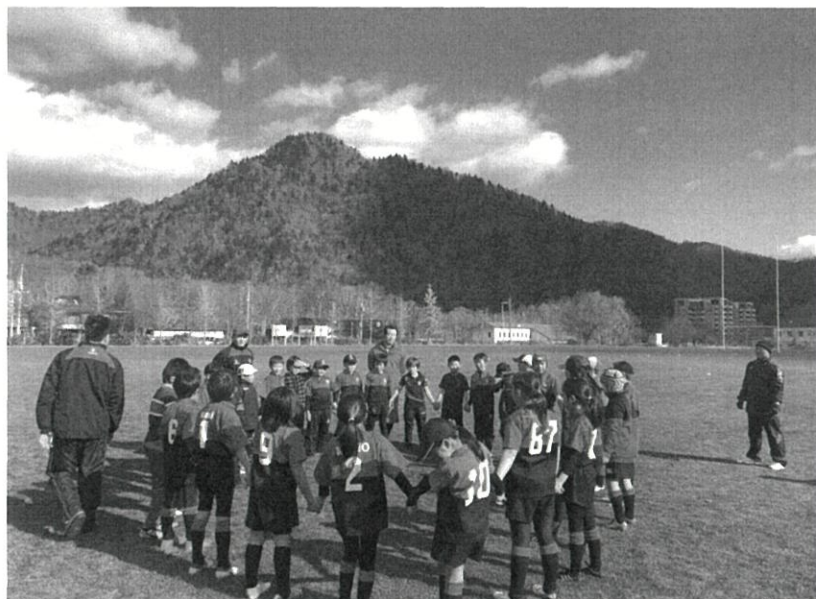
1年間バーバリアンズジュニアの活動を支えてくださった父兄の皆さん、コーチの皆さん、サポーターの皆さん、翔太キャプテン、智朗バイスキャプテン、子供たちに感謝申し上げます。来年も皆で力を合わせていきたいですね。

私たちの仲間であり、ジュニアの活動を長年支えてくれた菊地コーチが急逝しました。誰に対しても優しくあった菊地コーチ、今でもグラウンドに行けば会える気がします。謹んでご冥福をお祈りいたします。

◇ 活動レポート

中学年担当コーチ 山本 隆広

中学年の選手の皆さん、2019-2020 シーズンもラグビーを楽しむことができたかと思います。サポーターの皆さん、保護者の皆様、いつもご支援ありがとうございます。おかげさまで、大きなケガやトラブルなく過ごせました。新しいメンバーも増え、最終的には中学年では4年生17名、3年生18名で活動しました。低学年よりも体が次第に大きくなり、スピードも増す中で、ケガなくプレーできたことは、何よりかと思えます。ジュニアは、今シーズンも尊敬・協力・前進をモットーとして活動してきました。そのベースにあるのは、ワールドラグビーの憲章である、品位・情熱・結束・規律・尊重だと思っています。このようなラグビーのメンタリティが、ワールドカップ日本大会において、多くの人を感動させたのだらうと思えます。この価値観をブレイクダウンし、子どもたちへジュニアの活動を通じて伝えていきたいなと思っています。ラグビーを楽しむこと、仲間を大切にすること、を大切に思い成長してほしいです。毎週、定山溪のグラウンドで、子どもたちが生き生きと走り回っている姿を見るのが楽しみでした。私自身も、いい環境の中で子どもたちとラグビーを楽しむことで、いつもリフレッシュさせてもらいました。子どもたちは、パス、タックル、ラックなどラグビーの基本プレーが上手になっていき、体感トレーニングやフィットネスに取り組むことで、しんどいことを頑張る力もついてきたと思えます。50m走の記録をみても、みんな足が速くなっています(2回目の測定で全力を出さずタイムが落ちた子たちもいるけど)。こういうことの積み重ね、やはり継続していくことが大切だと思うので、これからもラグビーを楽しく続けていけるよう、取り組んでいきたいと思えます。来シーズン、4年生の子たちは高学年に上がり、よりパワーとスピードが増すラグビーをすることになります。くれぐれもケガのないように願っています。そして、よりたくまくなった姿を見せてください。3年生は、中学年カテゴリーのリーダーとして、自主的に積極的にチームを引っ張ってくれたら、と思えます。新しく中学年カテゴリーに入ってくる2年生たちは、これまで低学年ではタグラグビーをしていたので、フルコンタクトのラグビーに最初は戸惑うと思うけど、少しずつ慣れていきましょうね。3年生と体格差もあるので、無理な状況とならないように、コーチとして慎重に取り組んでいきたいと考えています。来シーズンは、中学年カテゴリーのチーフコーチをさせていただきます。コーチ、サポーター、保護者の皆様、中学年カテゴリーの活動がうまくいくように、引き続きご支援



をお願いいたします。

◇ 活動レポート

中学年担当コーチ コッター マッシュージェイムス

中学年の皆さん、1年間お疲れ様でした！今シーズンは本当に、全力でラグビーをやりきり頑張りました。一番素晴らしいと思った大会は小樽のスクール大会でした。練習で習ったことを試合で実践できて、プレイも気持ちもみんな一緒になり頑張りました。

来シーズンは4年生が高学年カテゴリーへ、3年生は中学年のリーダーになります。今シーズンで学んだ事を忘れずに頑張ってください。

中でも特にみなさんに頑張ってもらいたいのは「基本」です！レベルが上がると、さらに細かいスキルを求められて難しくなり、選手や時にはコーチも！！「基本」を忘れてしまいます！

基本であるハンズアップ、オニギリ、エビ、シャコ、これらは本当に大事です。

日本代表、オールブラックスの選手でさえも今もなお、時間をかけてこの基本のことを練習します。

来シーズンも、みなさんの頑張っている姿を見るのを楽しみにしています！

キア・カハ！（マオリ語 Kia Kaha「たくましく頑張ってください！」）

◇ 活動レポート

中学年担当コーチ 鈴木 大

中学年の選手のみなさん、1年間の活動お疲れさまでした。キャプテンのしょうた、バイスキャプテンのともろうが中心となり、チーム全体としてとても真面目に頑張っていましたね。4月からの1年間で、みんなラグビーがうまくなり、ものすごく成長したと思います。試合や練習において、学年ごとにチームを組んで取り組むことが多かったですね。4年生チームは先輩として全体を引っ張り、後輩たちの目標となっていました。3年生チームも、先輩たちに負けないようにと必死にくらいついていく姿がとても印象に残っています。同じ学年での絆が特に強くなったと思いますので、次の学年の活動においてもそのチームワークはうまく活かせるものだと思っています。もちろん、先輩たちから学ぶこと、後輩たちを助けることを忘れずに。

また、2019年はみなさんもよくご存知のラグビーワールドカップが開催され、札幌でも試合がありました。連日、世界最高峰の国や地域同士の試合が行われ、みなさんも会場で直接、あるいはテレビを通して、観戦されたことでしょうか。世界レベルのラグビーを知ることで、良い目標ができたのではないかと思います。さらに、今年は東京オリンピックがあり、7人制のラグビーも行われます。こちらも楽しみです。皆さんの中から、将来の代表選手が選ばれることを夢見ています。

1年間どうもありがとうございました。選手のみなさん、保護者のみなさん、チーム関係者のみなさん、お世話になりました。とても楽しく過ごすことが出来ました。改めてお礼を申し上げます。引き続き、どうぞよろしくお願いたします。またグラウンドで会いましょう。

◇ 活動レポート

中学年担当コーチ 渡辺 暁

中学年の皆さん、今年も1年お疲れ様でした！中学年のみんな全員が間違いなく1年前の自分と比べたらラグビーの技術でもラグビーや仲間に対する考え方や想いについても成長したと思います。よく頑張ったと自分をほめてあげてください。4月から4年生は高学年カテゴリーへ、3年生は中学年のリーダーとして活動することになります。これまでに学んだ事を忘れずに、技術的にも人間的にも大きく成長して欲しいと願っています。ワールドカップで各国の選手が見せてくれた素晴らしいプレーも、一つ一つの基礎練習の積み重ねで出来たプレーです。皆さんも一つ一つの練習を大事にしてやっていたら必ず同じようなプレーは出来るようになります。最後になりますが、仲間を大切に、みんなが楽しくラグビーを続けられるよう4月から引き続き頑張ってください！皆さんがまた1年後にどんな成長を見せてくれるか？コーチも皆さんの親御さんも楽しみにしています！



◇ 試合記録

年月日	対戦チーム	得点		会場・大会名	勝敗
		BBJr (B・R)	対戦チーム		
2019. 8. 3	遠軽 RS	B 15	20	体文協 (野幌)	●
2019. 8. 3	旭川 RS	R 30	15	体文協 (野幌)	○
2019. 8. 3	美幌ラグビー少年団	R 15	20	体文協 (野幌)	●
2019. 8. 3	山の手 RS A	B 5	45	体文協 (野幌)	●
2019. 8. 3	東京ハリケーンズ	R 0	45	交流戦 (野幌)	●
2019. 8. 4	小樽 RS	B 10	25	体文協 (野幌)	●
2019. 8. 4	山の手 RS B	R 5	60	体文協 (野幌)	●
2019. 8. 4	オホーツクブルーRFCJr	B 10	35	体文協 (野幌)	●
2019. 8. 4	札幌少年 RS	R 5	35	体文協 (野幌)	●
2019. 9. 14	SPO	R 75	5	スクール大会 (望洋台)	○
2019. 9. 14	小樽 RS	B 10	40	スクール大会 (望洋台)	●
2019. 9. 14	札幌少年 RS	R 10	20	スクール大会 (望洋台)	●
2019. 9. 15	BB BLACKS vs BB REDS	B 00	R 50	スクール大会 (望洋台)	REDS
2019. 9. 15	函館 RS A	B 25	20	スクール大会 (望洋台)	○
2019. 9. 15	小樽 RS	B 15	25	スクール大会 (望洋台)	●
2019. 9. 15	小樽 RS	R 40	10	スクール大会 (望洋台)	○
2019. 9. 15	函館 RS A	B 0	60	スクール大会 (望洋台)	●

体文協大会 6位 REDS
 12位 BLACKS

スクール大会 4位 REDS
 7位 BLACKS

◇ 50 m走 タイム測定

名前	学年	春1回目	春2回目	秋1回目	秋2回目
アシュクロフト 飛	4年	9.22	9.06	9.04	8.79
安藤アルヴィー優那	4年	9.26	9.50	9.42	9.46
今村 朱李	4年	9.06	9.33	9.34	9.00
小川 真穂	4年	9.56	9.64	9.53	9.49
北橋 翔太	4年	9.69	9.71	9.16	9.00
コッター真花ソフィア	4年	10.11	10.55	9.90	10.22
素野 滉斗	4年				
田中 快	4年	13.65	13.26	13.38	13.38
高桑 花恵	4年	8.74	8.66	8.68	8.73
寺井 晴真	4年	8.76	9.03	8.84	8.84
平野 智朗	4年	9.97	9.57	9.46	9.37
藤村 舞音	4年	10.08	10.16	9.42	9.46
林 凜翔	4年	10.00	9.82	9.59	9.43
戸田 陽基	4年			9.33	9.35
長谷川天虎	4年			9.99	10.09
ボゼア フィン	4年			9.57	9.65
酒谷 見美	4年			9.40	9.79
阿久津秀斗	3年	10.00	9.93	9.71	9.48
笠間実和子	3年	10.61	11.20	11.59	10.97
川口 凜	3年	9.64	9.23		
小松 武寛	3年	10.00	10.11	9.85	9.49
坂田 佳大	3年			10.99	10.75
佐藤 創生	3年			12.52	12.02
田中 陽	3年	13.40	12.31	12.06	12.41
堀 孝太郎	3年	10.87	10.53	11.00	10.92
森 一馬	3年	11.05	10.96	10.30	10.40
山下 櫻介	3年	10.18	9.87	9.48	9.48
山本健志郎	3年	10.16	9.65	10.36	10.41
ヤヤウィ 魁	3年	9.01	9.05	9.80	9.09
渡辺 旬	3年	10.08	10.59	10.30	10.24
相原 慈希	3年	12.71	13.02	11.13	10.90
鎌田 幸祥	3年	10.50	10.08	9.31	9.56
本間 玄都	3年			9.31	9.56
浅田寅乃輔	3年	9.79	9.53		

*** 高学年の部 ***

◇ 活動レポート

高学年担当チーフコーチ 関根 則仁

今シーズンの高学年カテゴリーは、7月には菅平高原で行われたラグビーマガジンカップ、8月には体文協大会、9月にはスクール大会、10月にはヒーローズカップ北海道予選へ出場し、体文協、スクール大会については、2チームでの出場となりました。また、6月には高学年単独での遠軽遠征、9月には函館遠征とハードなスケジュールの中選手たちは非常に多くの経験を積み成長したと思います。ラグビーマガジンカップでは、全国の強豪チームとの対戦で、心が折れかけながらも、必死にタックルをし、負けはしましたが選手たちには大きな経験だったと思います。体文協大会、スクール大会は、Reds、Blacksと2チーム出場し、どちらのチームも全力を出し切り、Redsについては、2大会優勝という結果を残してくれました。シーズン中、選手たちには「ルールを守ること」「全力を出すこと」「自主性」を言い続けてきました。ちょっとくらいなら、この程度ならという気持ちは誰にでも起こるものですが、そういった気持ちを抑えながら、ルール覚え守ることにより、ラグビーを理解し、楽しんでもらえるようになってもらえればと思いながらコーチングをしてきました。グラウンドに出れば、それぞれの選手が自分で考え行動しなければなりません。普段の生活から親に言われることなく、自分で考え、行動をできるようになってもらうことが、ラグビーのプレーにも通じるという思いから、練習では選手にうるさいとは思われたかもしれませんが言い続けてきました。選手たちは、目標としていたヒーローズカップ全国大会の出場を逃してしまいましたが、体文協大会、スクール大会を優勝できたことは、みんなが頑張った成果だと思います。特に6年生には、毎大会、私たちコーチに緊張感や感動を味わわせてもらい感謝の気持ちでいっぱいです。また、シーズンを通じて選手の怪我を診てくださったチームドクターの島本先生や中澤コーチのおかげで、選手の怪我の状態を私が知った上で、将来的に致命的な怪我とならないよう、復帰時期を考えながら試合に備えることができたことは、選手を試合に臨ませる上で非常に大きな支えとなりました。来年度以降も選手たちの怪我には、最大限注意を払いながら、全力でプレーできるよう練習メニューを考えていきたいと思っています。

保護者の皆様、カテゴリーコーチ、その他にもたくさんの方々のおかげで、シーズンを乗り切ることができたことに心より感謝申し上げます。

◇ 活動レポート

高学年担当コーチ 西尾 哲弥

今年の高学年チームは、力のある選手が多かったですが、ヒーローズカップの予選には、残念ながら負けてしまいました。悔しいと思いますが、勝負は必ず勝者もいれば敗者もいます。この経験・くやしさを忘れず、次のステージでがんばってください。さて、バーバリアンズの理念から、勝つための戦術指導は、私からは指導してきませんでした。それは、勝つことを目標に努力するのは当然ですが、勝つことが目的ではなく、ラグビーを楽しむことが目的ということです。基本的な技術が中心で、相手の状況を分析して、ここが弱いからここを攻めろなどの指示はあまりしません。自分たちで考えることが、成長するにつれ重要だからです。(よっぽどワンパターンのプレーをしていると、選択肢として話すこともあります。) これからも同様にコーチしていきたいと思っています。個人的には、今年は転

勤もあり、ほぼ後半は参加できませんでした。来年も同様となりますが、少しでもフォローしていきたいと思います。今後ともよろしくお願い致します。

◇ 活動レポート

高学年担当コーチ 熊木 勝彦

今シーズン子供たちは、しっかりと自分を磨き前を向き努力を重ね、体文協大会、スクール大会に優勝し、ヒーローズカップ北海道大会に進出しました。結果は函館ラクビースクールさんに僅差で敗れ、喪失感悔しかったことと思います。お父さん、お母さん達の声援にこたえ懸命に走り、タックルし、倒されても、起き上がりボール追い続け最後の最後まで、諦めることなく完全燃焼した君たちと時間を共有できたことを、誇りに思い感謝します。6年生は中学生になります、ジュニアラグビーとなり更なる辛い練習をし自己管理、スキルアップ、仲間との協調など多くを学ぶこととなります。君達には必ず乗り越え活躍してくれることと思っています。中学生では選抜大会があります。全国大会で十分通用するレベルまで、己に厳しく、人にやさしく、暗に妥協せず精進し続けてください。ミニラグビー卒業おめでとう。

さて君達には、残念お知らせがあります私は君達と一緒に中学生の指導に移行します、今まで以上に君達を歓迎すべく他のコーチと秘策を練っておきますね。ミニラグビー卒業の父兄の皆様におかれましては、誠にお世話になり有難うございました。ヒーローズカップ決勝大会進出できず申し訳ありません。しかしながら、敗戦により子供たちは多くを学び成長できたものと思います。ラグビーでは、勝ち負けを超えた何かがあります、各々来シーズンその結果を見せてくれるものと信じております。

新6年生は良き伝統を引継ぎ率先して、個々の課題を見つけ克服し、新5年生の面倒を見てチームの和を保ちながら、楽しく、明るく練習し自分のプレーに磨きをかけて下さい。これからは各々の体、心を鍛え、よく食べ、よく寝、よく考えて、新たに迎える新5年生の手本となるよう、行動してください。ラグビーは体の強さは勿論ですが、考えることが非常に重要です良いプレーを鑑賞し、さらに勉強も怠けずに頑張ってくださいね。来期はカテゴリーは外れますが、グラウンドでいつも見えています。

最後に保護者の皆様には、大変お世話になりました、この場をお借りして感謝申し上げます、来るシーズンもよろしくお願いたします。

◇ 活動レポート

高学年担当コーチ 雨嶋 克憲

コーチとして、初めての1年が終わりました。高学年チームで、体の大きさ・スピード等の体力に差がある子供達が怪我無く楽しんでラグビーができるか心配でしたが、一方でワンチームとして戦うためには、学年間の交流を持ちつつ戦力アップを図ることが必須であり、この両立を図るための試行錯誤が中々大変であった気がします。初めて出会った6年生は想像以上にスピード・パワーがあり、とても頼もしい存在でした。この1年を通じて個人のスキルや体力のみならず、チームとしてのコミュニケーション力も向上したと思います。たまに大人顔負けのプレーも見せてくれるようになりました。これからもラグビーを大好きでいてくれると嬉しいです。5年生も6年生に引っ張られて、コツコツレベルアップしてきました。今度は自分たちが最高学年になるので、頼もしい6年生になって下さい。私も、コーチとして更に子供達・チームをサポートして行けるよう頑張ります。

◇ 試合記録

月日	対戦チーム	得点		会場・大会名	勝敗	備考
		BBJr.	対戦チーム			
7.14	浦和 RS	10	45	ラグビーマガジン CUP@菅平	●	
"	江東 RS	5	45	"	●	
7.15	鎌倉 RS	0	45	"	●	
8.3	山の手 RS B	85	0	体文協大会	○	Reds
"	旭川 RS+帯広少年 RS	90	0	"	○	"
"	遠軽 RS	0	45	"	●	Blacks
"	帯広少年 RS	5	45	"	●	"
8.4	函館 RS ネット・ブルズ	10	25	"	○	Reds
"	山の手 RS A	35	5	"	○	"
"	札幌 RS+小樽 RS	45	5	"	○	Blacks
"	OKBjr	45	5	"	○	"
9.14	函館 RS ブルシャークス	60	0	全道スクール大会	○	Reds
"	小樽 RS	5	45	"	○	"
"	OKBjr	15	25	"	●	Blacks
"	函館 RS ネット・ブルズ	0	50	"	●	"
9.15	遠軽 RS	42	5	"	○	Reds
"	函館 RS ネット・ブルズ	35	28	"	○	"
"	帯広 RS+旭川 RS	47	0	"	○	Blacks
"	美幌 RS+SPO	14	14	"	○(抽選)	"
"	函館 RS ブルシャークス	14	28	"	●	"
10.6	遠軽 RS	25	5	ヒーローズカップ北海道決勝大会	○	
"	山の手 RS	40	10	"	○	
"	函館 RS	15	20	"	●	

体文協大会

優勝 (Reds)

全道スクール大会

優勝 (Reds)

ヒーローズカップ北海道決勝大会

準優勝

野幌雪中ラグビー大会

準優勝 (Reds)

◇ 50m走 タイム測定

名前	学年	春1回目	2回目	秋1回目	2回目
今村 瑠李	6	8.62	8.65	8.96	8.59
小原 煌大	"	9.45	9.62	8.63	8.53
笠間 涉	"	8.72	8.74	8.57	8.54
鎌田 宋汰	"	9.78	9.57	9.45	9.64
木原 洸太	"	8.93	8.84		
木明 弦希	"	9.06	9.24	8.43	8.18
笹 百花	"	9.54	9.26	9.00	8.92
佐野 琉星	"	7.68	7.84	7.43	7.64
田島 明輝	"	8.50	8.59	8.36	8.54
田中 悠汰	"	8.72	8.81		
新山 心々奈	"	8.85	8.41		
宮本 太進	"	8.75	9.01	8.55	8.63
阿久津 順ノ介	5	9.67	9.32	9.78	9.39
浅野 健志	"	11.42	11.26	10.96	10.62
安部 祥太郎	"	11.25	11.42	11.02	11.18
雨嶋 アサヒ	"	9.17	9.33	9.03	9.06
オーテ ルマツ・ダリアス	"	8.96	9.06	8.72	8.78
小野田 旭	"	9.56	9.18	9.31	9.34
梶川 なゆた	"	8.73	8.60	8.60	8.56
金和 悠心	"	9.93	9.87	9.74	10.06
川口 脩	"	8.15	8.20		
菅原 安司	"	9.73	9.14	8.90	8.82
関根 佑介	"	8.76	8.85	8.84	8.82
世羅 大芽	"	13.83	13.70	14.36	13.76
西尾 幸輝	"	7.87	8.01		
野口 誠心	"	10.53	10.04	10.10	10.75
萩生田 涉互	"	9.72	10.22	9.20	9.49
平山 陸	"	10.06	10.91		
松崎 凌駕	"	9.51	9.95	9.30	9.00
森野 吹飛	"	10.38	10.00	9.81	9.95

◇ 表 彰

年間MVP選手 田島 明輝
敢闘賞 今村 瑠李 安部 祥太郎

夏季MVP選手 宮本 大進
敢闘賞 笹 百花 木明 弦希 浅野 健志

《2019年度 担当コーチ》

チーフコーチ 関根 則仁

コーチ 雨嶋 克憲 安部 伸一 西尾 哲弥 金和 俊朗



*** 中学生の部 ***

◇ 活動レポート

中学生担当チーフコーチ 小関 成樹

今年度は中3が9名、中2が2名、中1が13名の合計24名のメンバー構成で、乗木コーチ、平野コーチ、篠原コーチ、仲澤コーチ、小関を基本とするコーチ陣で活動してきました。加えて、中村サポーター、竹内サポーター、上田サポーターに適宜加わって頂きました。皆様方のご協力のおかげで、充実した活動をする事ができたこと、この場をお借りして改めて感謝申し上げます。

今年度の中学（特にU15）チームは色々と考えさせられる年でした。年度当初、BBJr. 単独でU15チームを組めるのではないかと、とも思ったのですが、微妙に人数が足りず、かといってU13選手を引き上げることはチーム方針としてしないことを決めていたので、他チームと合同チームの結成となりました。今年度の合同チームはかつてないほどの混合ぶりで、札幌近郊の札幌RS、山の手RS、小樽RSと合わせて4チームの合同チームで大会に臨むことになりました。初めのうちはなかなかチームとして機能することができないことも多かったのですが、試合を通じて、まさにOne Teamとしてチームがまとまっていき、体文協大会では見事に優勝してくれました。異なるチームのメンバー同士が互いを尊重し、チームを作り上げたこと、U15のメンバー達は今までになかった貴重な経験をすることができたと思います。

一方で今年もまた、指導することの難しさを感じる年でもありました。中学生のラグビーは小学校までのラグビーと若干趣が異なります。小学校時代のようにチームとして〇〇大会での優勝を目指す、といった明確な目標を掲げにくいのです。単独でチームを組めるかどうか毎分分からない状況で、目標設定をどこに置くのが難しい年代と言えます。さらに、学校での部活動との関係などでラグビーにだけ集中しにくい状況にあると思います。一つの目標設定としては、北海道代表選手になる、といったものがありますが、個人的なものになってしまいます。このように目標設定が難しいなかで、いかにモチベーションを高く維持してラグビーに向き合うか、ここに中学ラグビーの難しさがあると思っています。我々指導する立場からすると、選手達が将来にわたってラグビーを続けてくれるための基盤作り、といった位置付け（年代）と捉えており、いかにラグビー選手としての資質（基盤）を高めることができるかに注力したいと考えております。選手、保護者の皆さんには、中学生ラグビーの位置付けを改めてご理解頂き、そのうえでしっかりとラグビーに向き合って欲しいと思っております。

最後になりますが、今年BBJr.を卒業する9名の皆さんの多くは、小学校3年生の頃から私が指導してきた年代の選手達です。身体も心もずいぶん成長したものだなあ、と感心しております。多くの選手達は高校でもラグビーを続けると言ってくれています。長い子は10年にもわたりBBJr.でラグビーをしてくれました。ラグビーを続けられない子、続けられない子もいるとは思いますが、ここで培ったラグビー仲間との友情を大切にして、次のステージでのそれぞれの活躍を大いに期待しております。また、長きにわたりBBJr.の活動をご支援頂きました卒業生保護者の方々に、この場をお借りして深く感謝申し上げます。

◇ 活動レポート

中学生担当コーチ 乗木 裕

今年度も中学生カテゴリーを担当させていただきました。今年は3年生と1年生の人数が多く、毎週の練習にもたくさんのメンバーが集まってくれました。厳しいメニューにも楽しく賑やかに取り組んでいるのを見ていると、数人で細々と活動していた頃が懐かしく思えます。また、今年の中1、中2は中学年の頃に一緒に活動していた選手が多く、つつい当時を思い出してしまうのですが、みんな、それぞれ成長していく過程を見ることが出来るのは、本当にありがたいことと感じています。

大会では、U13はほぼ単独チームとしての出場となり、各選手が個々の能力を活かし、のびのびとプレーしていたのが印象的でした。RWCの影響も大きいと思いますが、BBJrに限らず、高度なプレーのイメージが出来ている選手が大幅に増えたと感じます。是非とも、自分がやってみたいと思うプレーには、どんどんチャレンジして行って欲しいと思います。

U15では札幌地区の合同チームとしての参加となりました。シーズンを通じ、それぞれの事情でなかなかメンバーが揃わず、安全対策の面では課題が多く残りました。怪我によりプレーが出来なかった選手には、本当に申し訳なく思います。ただ、そのような中でも、前向きに自分に出来ることを探して頑張ってくれたことは、本当に大きな成長だと思えますし、選手には深く感謝したいと思えます。また、混成チームであることの楽しさと難しさを経験出来たことは、大きな収穫だったと思えます。ラグビーに限らず、どのような場面でも、このような経験は生きてくるもの。これまで培った多くの事を自分の武器にして、強く優しく大きな人間に成長して行って欲しいと願っています。新型コロナウイルスの影響により、北海道代表チームの水戸遠征も中止となり、イベントの中止も相次いでいる状況ですが、ラグビーに携わる者として、こんな時こそ、明るく前を向き今出来ることを一生懸命やるのが大切だと考えるところです。新しいステージや来るべきシーズンに備え、しっかり準備していきましょう。

今年も1年間大変お世話になりました。保護者の皆様には、活動に対してご理解、ご協力をいただき本当にありがとうございます。活動に際してはいろいろ課題もありますが、クラブ全体で協力しながら、子供達がのびのびとラグビーを楽しめる環境を作っていけたらと思いますので、引き続き、どうぞよろしくお願いいたします。

◇ 活動レポート

中学生担当コーチ 篠原 誠

三年生のみなさん、バーバリアンズ Jr.での活動お疲れ様でした。今年のチームの印象は三浦キャプテンを中心に明るく元気に楽しそうにラグビーしてるなと感じました。今後もラグビーを続ける子がほとんどだと思いますがこの気持ちを忘れずにがんばって欲しいと思います。卒業生のこれからの活躍に期待しています。今年度の活動については昨年同様にフィットネス、パススキルを中心とした練習内容にし、人もボールもたくさん動かすラグビーを目指して取り組んできました。昨年から一貫してやってきているフィットネスは各自妥協することなく追い込んでいて素晴らしい効果を得ることができたと思います。パススキルについてもパスの正確性、離すタイミングなど確実に成長しました。各大会については札幌ラグビースクール、山の手ラグビースクール、小樽ラグビースクールと合同チームといった形で参加しました。体文教杯では合同チームでコミュニケーションをとるのが難しい中、

持ち前のフィットネスを生かし最後までパフォーマンスを落とすことなく競り勝ち見事優勝してくれました。スクール大会については三浦キャプテンのケガによる戦線離脱、主力選手の脳震盪、合同チームが故のベンチワークでのミスなど様々な要因が重なりチームをベストな状態で試合に挑ませることができなかった事を指導者として深く反省しています。特に今年は脳震盪を起こすケースが多い年でした。次年度は練習から受身、首の筋力トレーニングといった基礎的なところに重点を置き、安全にプレーできる状態を整えること、また脳震盪を起こしてしまった場合の対処する知識が重要だと感じました。

最後になりますが保護者の皆様には、練習の送迎、お手伝い、試合の応援、イベントでのご支援等いただき、ありがとうございました。来年度もよろしくお願いいたします。

◇ 活動レポート

中学生担当コーチ 平野 智彦

3年生の皆さん、BBJ r 卒業おめでとうございます。遼太郎キャプテン筆頭に、練習に取り組む姿勢は明るく、真面目であり、ポテンシャルも高く、今後の彼らの成長が楽しみでなりません。高校では、主体的に練習や試合に取り組み、自己分析をしっかり実施することを最後のアドバイスとさせていただきます。この世代とは9年間一緒でしたね。楽しい時間を本当にありがとう！1年生と2年生は高学年時代にもコーチングしていた選手達も多く、小学生の時は少しコンタクトが苦手な選手もいましたが、今はしっかり体を当てられるようになってきたと思いますよ。1年生は、昨年2月のヒーローズカップ終了時から、新しい選手達も加入し、選手のほとんどがラグビーを続けていることを昨年の高学年コーチとしては大変嬉しく思います。個人的な総括としては、春シーズンは練習参加が不定期でしたが、夏からはチームに帯同する時間が増え、1年生・2年生のラグビーに取り組む姿勢やスキルは向上しているイメージはあります。まだまだポテンシャルを引き出すコーチングを意識して次シーズンも望みますね！来シーズンへの準備課題としては、「どのようなプレイヤーになりたいか?」「1年を通しチームをどう作りあげたいのか?」「原則どのような試合をしたいのか?」 その大枠をしっかりコーチと選手が連動し、スタイルやイメージを明確にする事が第一歩かと感じています。選手個々が大切なことは【主体性の意識と規律の大切さ】です。ラグビーはグラウンドでは大人や子供に関係なく、「主体的」に考え、瞬時に最良な選択を自己やチームで判断し、継続し続けるスポーツです。「規律」はルールを守ることです。守ることを徹底しなければなりません。私自身もまずは自己分析し、春シーズンは選手達を良く観察し、創造性を導き出すことができるよう、日々鍛錬していきます。

最後に長期間サポートしていただいた、チーム関係者や雪の定山溪グラウンドの送迎等に御協力していただいた保護者の皆様方に心より感謝申し上げます。

今シーズンも本当にありがとうございました。



◇ 試合記録

月日	対戦チーム	得点		会場・大会名	勝敗	備考
		BBJr.	対戦チーム			
5月5日	札幌RS・山の手RS	41	27	練習試合・定山溪	○	U15
"	札幌RS・山の手RS	40	20	"	○	U13
5月26日	U15立命館中学	5	26	こぐまリーグ・立命館	●	U15合同
"	U13公立中合同	27	0	"	○	U13
"	U13公立中合同	20	0	"	○	U13
"	U15公立中合同	43	0	"	○	U15合同
"	U15立命館中学	17	17	"	—	U15合同
"	U13公立中合同	37	0	"	○	U13
"	U15公立中合同	33	0	"	○	U15合同
6月23日	北嶺中学	10	10	こぐまリーグ・月寒	—	U15
"	札幌・山の手	5	36	"	●	U15
"	U13公立中合同	42	0	"	○	U13
8月3日	旭川・美幌・SPO・OKBJr	24	19	体文協大会・野幌	○	U15合同
"	函館RS	29	14	体文協大会・野幌	○	U15合同
"	十勝・道東・道北合同	26	14	"	○	U13合同
8月4日	帯広RS	22	21	"	○	U15合同
"	西北海道合同A	20	12	"	○	U13合同
9月14日	旭川・美幌・SPO・OKBJr	43	0	スクール大会・小樽	○	U15合同
	遠軽RS	20	26	"	●	U15合同
	西北海道合同A	45	0	"	○	U13合同
	十勝・道東・道北合同	52	12	"	○	U13合同
9月15日	帯広RS	5	26	"	●	U15合同
	函館RS	14	35	"	●	U15合同
	西北海道合同A	59	12	"	○	U13合同

※U15合同はBB, 札幌RS, 山の手RS, 小樽RSの合同チーム

※U13合同はBB, 山の手RSの合同チーム

◇ 50m走 タイム測定

名前	学年	春1回目	2回目	秋1回目	2回目
梅本 拓未	3	6.88		6.77	
日下 優作	3	6.68		6.56	
小関 祥平	3	8.25		7.94	
乗木 幸拓	3	6.97		6.88	
平野 智希	3	-		-	
三浦遼太郎	3	6.67		6.58	
中村 友哉	3	7.33		7.29	
篠原 結士	3	7.01		6.92	
竹内 大空	3	7.04		6.92	
藤村 北斗	2	8.22		7.88	
佐々木 悠人	2	-		-	
安藤 アルヴィー 優太	1	7.74		7.52	
上田 健心	1	8.02		7.85	
オデ ルマツ ソフィア	1	7.22		-	
大村 珊瑚	1	8.01		7.78	
北橋 ちさと	1	8.11		7.95	
小松 穂子	1	7.95		7.82	
鈴木 晃史朗	1	7.94		7.71	
関崎 温太	1	7.82		7.61	
高橋 生依安 ゲイ-	1	8.18		8.00	
竹ヶ原 大輝	1	7.52		7.33	
平野 ともな	1	8.11		7.98	
堀 幹太郎	1	7.51		7.37	
ポゼア 大	1	-		7.32	

◇ 表彰

年間MVP選手 三浦 遼太郎

《2019年度 担当コーチ》

チーフコーチ 小関 成樹

コーチ 乗木 裕 平野 智彦 篠原 誠 仲澤亜紀子

*** ジュニア総括 ***

バーバリアンズジュニア ヘッドコーチ 長谷川 竜介

ワールドカップラグビー日本大会の盛り上りにより、日本中でラグビー熱が高まった一年でした。札幌開催の2試合のほか、駅前と大通りのファンゾーンでも実にたくさんの方がラグビーの面白さにふれてくれました。各コーチにおいては、体験会など普及のためのイベントにも多数ご参加され、大変お疲れ様でした。中でも昨年急逝された菊地コーチは、この数年イベントにスタッフとして精力的に参加され、多くの子供たちにラグビーの楽しさを伝えてくれていた姿が目に見えます。改めて心よりご冥福をお祈り申し上げます。

日本ラグビー界は、ワールドカップ開催を機に様々な変化がありました。我々に深くかかわる部分では「コーチング」が整理されたことです。コーチ資格制度が見直しされ、無資格コーチゼロを目指すとともにスタートコーチからS級のトップチームコーチまで一貫したカリキュラムとなり、目指すべきコーチの姿が明らかになりました。BBジュニアとしても、ワールドラグビーが推奨するコーチングの在り方を共有し、ラグビーが大好きな子供たちを一人でも多く育てていくことを目指していきます。「学ぶことをやめたら、教えることをやめなければならない」と資格講習会では締めくくっています。「コーチセンタード」から「プレーヤーセンタード」の時代です。これからのラグビー界の発展に向けてコーチの皆さんも研鑽していきましょう。今年度は、メンバーの人数が大きく増加しました。新年度はさらにラグビーを始めようという子供たちが増えるでしょう。選手の増加には有資格コーチの増加は不可欠です。12月にはBBジュニアから20名以上のスタートコーチ資格取得者が生まれました。資格は取って終わりではなくここからスタートですので、練習の機会を通して是非ともトライ&エラーを！！ラグビー大好きな選手と一緒に育てていきましょう。新年度からはクラブ内でも研修会を開催していきます。また、2020年度には北海道にてB級コーチ(ワールドラグビーレベル1)資格取得講習会が開催されます。10月24日 25日(旭川)、11月21日 22日(札幌)の計4日間と通信講座です。保護者の皆様には子供たちの成長こそが何よりのクラブに対する期待かと存じます。ラグビーは身体の接触を伴う競技ですので怪我のリスクも少なからずあります。コーチは安全にプレーするための配慮と身体の使い方を指導して参りますが、是非とも「早寝早起き朝ご飯」で規則正しい生活リズムで丈夫な身体づくりを！画面を見てのゲームのやりすぎは要注意です。ご家庭でラグビーの話題でもちきり！となるとよいですね。(もちろん勉強も)

北海道では、道内の各ラグビースクールから推薦された選手が数回の合宿を経て最終22名が北海道代表チームとして東日本大会へ参加します。東日本で4位までに入れば全国ジュニア大会への出場が可能となります。道内ジュニア・ミニのラガーマンの目標となっていますが、ラグビーのスキルだけではなく日頃の生活態度などでも北海道を代表できる選手が選ばれます。2019年度のU15代表チームには、BBジュニアから6名が遠征メンバーに選ばれチームの中心として活躍してくれました。東日本の1stステージでは、北東北には勝利したものの岩手県に敗れ、第2代表で2ndステージへ向かいました。2ndステージでは栃木県と宮城県に勝利し、第4代表決定戦進出をかけて茨城県と戦いましたが、惜しくも敗れ2019年度の挑戦は終了しました。目標は達成できませんでしたが、クラブの枠を超えた活動で友情を育み大きく成長してくれました。代表で活躍した選手のほとんどが道内の高校でラグビーを続けてくれるようです。さらに成長した彼らの姿を見るのが楽しみです。バーバリアンズジュニアを卒業していく選手たち、これからもラグビーが大好きでいてください。そしていつでもグラウンドに遊びにきて一緒にラグビーをしましょう。お疲れ様でした。

◇2019年度 北海道ラグビースクール代表の戦績

月日	対戦チーム	会場・大会名	勝敗	備考
3/9	山梨県中学代表	第16回東日本U15中学生選抜大会	○ 28対7	茨城県水戸市
3/9	神奈川県 RS B	第16回東日本U15中学生選抜大会	● 0対38	茨城県水戸市
3/10	東京都中学 B	第16回東日本U15中学生選抜大会	○ 29対20	茨城県水戸市
10/20	岩手県代表	第39回東日本中学生大会1ステージ	● 5対26	函館市
10/20	北東北選抜	第39回東日本中学生大会1ステージ	○ 34対0	函館市
11/9	栃木県 RS 代表	第39回東日本中学生大会2ステージ	○ 24対7	千葉県千葉市
11/10	宮城県 RS 代表	第39回東日本中学生大会2ステージ	○ 19対5	千葉県千葉市
11/11	茨城県 RS 代表	第39回東日本中学生大会ファイナルマッチ	● 14対40	千葉県千葉市

第39回東日本中学生大会（ラグビースクールの部）は

1位：長野県 2位：群馬県 3位：神奈川県 4位：東京都 という結果でした。



ジュニアを卒業します

「仲間を信頼！」

2019年度ジュニアキャプテン 三浦遼太郎



僕がラグビーを始めたのは小学校一年生でした。父のすすめからラグビーを始めましたが最初はラグビーが好きではありませんでした。周りが強くて試合に勝てなかったり、ルールがわからなかったからです。そんな僕を変えてくれたのはコーチや仲間のおかげです。低学年の時に教えてくれた阿久津コーチや菊地コーチは本当に可愛いがってくれ「良いよ！良いよ！」「上手だよ」とたくさん声を掛けてくれました。辞めたいと思っていた気持ちがなくなりラグビーが楽しくなりました。厳しい練習も心強い仲間がいたからこそ乗り越えて強くなれたんだと思います。その中で一番心に残っているのは最後の体文協大会です。帯広との決勝は思ったより緊張せず、この試合は絶対に勝てる確信していました。何故か前半で立て続けに得点を取られた時もその気持ちは変わりませんでした。そして、逆転して優勝！仲間と喜んだ時にどうしてそう確信していたのかわかりました。それは仲間を信頼していたからです。そうして勝ち取った感動は忘れません。

最後に自分をここまで育ててくれたコーチのみなさん。辛い時に助けてくれた仲間のみんな。そして9年間定山溪まで送ってくれた親。試合を応援してくれたみなさん。ありがとうございました。

ジュニアを卒業します

「家族に感謝！」

2019年度ジュニアバイスカプテン 小関 祥平



僕は父の影響で2年生の頃に初めてラグビーというスポーツに触れました。初めは茨城県でラグビーをしていて、バーバリアンズに入ったのは、3年生の時でした。今までのバーバリアンズで過ごした8年間、それは、とても魅力的なものでした。特にラグビーを通して感じたのは、たくさんの考えがあり、そしてそのたくさんの考えが一つに一致し、一つの方向に皆が向いた時に全体として、すばらしいプレーや友情が生まれるのだと感じました。始めの頃はただ、ラグビーは人にぶつかりに行くという、怖いイメージしか持っておらず、あまり楽しんでいませんでした。しかし、練習や試合などでうまくタックルが決まったりすると「ナイスタックル!!」と、仲間やコーチなどにいわれて『また、みんなに褒められたい!』と思うようになりました。そして6年生の頃に行った花園での全国大会『ヒーローズカップ』では、自分達よりも格上の相手に対してチャレンジする気持ちを持って戦い勝利することができた。この勝ちを勝ち取ることができたのも、全員が「勝ちたい!!」という強い意志を持ち、コーチ達がその気持ちに答えるように毎週、キツくも、愛情を持って僕たちを勝たせるためにメ

ニューを組み、サポートしてくれたおかげです。そして、このヒーローズカップで味わった『敗北』という悔しさを糧に「中学に上がったら、必ず北海道代表として全国で戦って勝ってやる!!」と心に誓い、全国に行くことは出来ませんでした。代表として誇りを持って戦うことができました。

最後に、このバーバリアンズで過ごした8年間、これは僕にとって忘れることのできない最高の思い出です。この場を借りて、最後まで一緒にプレーをしてくれ、こんな頼りない僕のことを色々な面でいつも支えてくれた遼太郎をはじめ中学3年生のみんな、どんな時も見捨てずラグビーの技術を含め、色々なことを教えてくださった小関コーチ、乗木コーチ、平野コーチ、篠原コーチ、仲澤コーチ、竹内さん、上田さん、中村さん、そして保護者の皆様、何よりこの『ラグビー』というスポーツをやらせてくれている家族に心から感謝を伝えたいと思います。

本当にありがとうございました。

ジュニアを卒業します

「仲間と協力！共有！」

乗木 幸拓



僕がラグビーを始めたのは、小学1年生の時でした。兄二人が先にラグビーを始めていて、自分もやりたいなと思ったからです。はじめのうちは楽しかった記憶がありますが、小学校高学年に上がった頃からはラグビーをやめたいと思うようになりました。試合で活躍できなかったり、他の皆よりもプレーが下手だったりしたからです。結局、中学生に上がるときに陸上部に入って、ラグビーも続けることにしました。当時はとても悩みましたが、今では皆と楽しい経験ができたので後悔どころか良い選択だったと思います。そんな僕が、ラグビーを通して得られた最も大きな事は、仲間と協力する事と自分も考えを共有する事です。この二つだけは、試合をするにあたってなくてはならない事だと今年ようやく理解しました。自分達が勝った試合は必ず声が出ていたし、連携ができていました。スキルを磨くことも、もちろん大事ですが、不得意な事を互いに補っていく事もラグビーの愉しさなのではないでしょうか。これからの人生というと大げさかもしれませんが何事にも通用する事だと感じるのでこの事を大切にします。

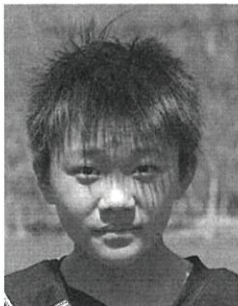
これまで教えてくださったコーチの皆様、今後ラグビーを続けられるかわかりませんが、教えてもらったことを忘れずにいます。ありがとうございました。そして BBJr を今年卒業するみんな、いままでほんとうにありがとう。皆と同じチームで試合する時の一体感が一番興奮したし、一生残る楽しい思い出になりました。

またグラウンドで会えるといいな。

ジュニアを卒業します

「高校で活躍するために」

梅本 拓末



僕がラグビーを始めたのは、小学2年生のときであった。兄がラグビーをやっているところを見て、自分もやってみたいと思ったからだ。高学年になった途端に練習がきつくなり、全然ついていくことが出来なかった。タックルもまともに出来ず、スクラムハーフなのにパスが遅い。だが、菅平遠征やヒーローズカップなどの大会で、全国レベルのチームと戦うことで、自分のスキルなどを上達させることが出来た。中学生になり、仲間が増え、練習がよりきつくなるとともに、自分の出来ることも増えた。その練習のお陰で、中学3年生のときは、体文協で優勝することができた。だが、自分自身、中学生になってから、ケガが増え、思うようにプレーができなかった。選抜合宿でも、ケガ等で練習に参加することができなかった。高校でもラグビーを続けるつもりなので、二度とこのような悔しい思いをしないように、体調管理をしっかりとし、常にコンディションが良い状態でいたい。この8年間で学んだことをしっかりと意識して、スタメンで出て活躍できるように頑張っていきたい。

最後に、今まで一緒にラグビーをして楽しんだ仲間達、親切に教えてくださったコーチの方々、支えてくださった関係者の皆様、本当にありがとうございました。

ジュニアを卒業します

「継続が力に！」

日下 優作



僕がラグビーを始めたのは、小学4年生の時でした。始めたきっかけはテレビでやっていたラグビーを見て、「かっこいい」と思ったのと、小学校で配られたバーバリアンズ Jr の体験会のチラシでした。初めて練習に参加した時は想像していたものよりとてもハードだと感じました。僕は柔道をやっていたので少しは練習に追いついていけたのですが、体力が少なくすぐにばててしまい、だんだん追いついて行けなくなる事が多くありました。そこでコーチに言われてとにかく走って体力をつけました。次第に体力もつき、何とかメンバーに追いつくことが出来ました。ラグビーはとにかく走るスポーツなので今でも走って体力をつけています。まだ大変なことが沢山ありました。判断力の無さやコミュニケーション力の無さ、ボールの正確さなどの難題が僕にはありました。ですがチームメイトや、コーチのサポートによりこれらを克服し、何とか試合でも少しは活躍することができるようになりました。きっと僕はバーバリアンズに入っていなければ、すぐに辞めていたと思います。

ここまで成長出来たのはチームメイトや、コーチなどたくさんの人達に支えられてきたからだと思います。感謝しきれないほどたくさんお世話になりました。今まで本当にありがとうございました。

ジュニアを卒業します

「僕のアイデンティティ」

平野 智希



僕はラグビーを小学2年生の時に始め、8年間プレーしてきました。きっかけは主に父の影響が大きいです。家で常にラグビーを見ているような人のもとに生まれたため、ラグビーを始めたのは必然だったのかもしれない。最初はラグビーに対して特別な感情はなくても、ラグビーをやるにつれて次第に楽しいと思えるようになりました。そして、小学5年生で菅平に行き、初めて全国レベルを体感したことで、自分たちに足りないものを知り、より一層練習に打ち込む事が出来ました。

そして、小学6年生ではスクール大会で優勝し、花園の全国大会に出場する事が出来ました。結果は1勝1分3敗でしたが、何にも変えがたい非常に貴重な経験をしました。そして、中学生になると、パスや、ポジショニングなどさらに多くのスキルが必要になり、日常的にラグビーに触れる機会が多くなりました。しかし、中2中3と怪我に悩まされ、ほとんどラグビーをプレーする事がなくなってしまいました。それはとても悔しく、何度も後悔しました。しかし、怪我をしてもラグビーに関わりたいと思い、レフリーの資格を取り、ラグビーを支えたいと思うようになりました。そう思えたのは仲間や、コーチの方々がいたからであり、バーバでラグビーをプレーしたことは僕のアイデンティティであり、自信に繋がりました。最後に、一緒にプレーしてくれた個性豊かな仲間たち、情熱的なコーチ方をはじめ、ラグビーに関わっていただいた方々、本当にありがとうございました。

ジュニアを卒業します

「あっという間の3年間！」

篠原 結士



僕がバーバリアンズに入ったのは小学校6年生の2月でした。きっかけは習っていた少年野球も終わり中学生になったら何をするかを迷っていたときに、父のすすめでバーバリアンズの練習に行ってみたことがきっかけです。とても緊張しましたがみんなとても優しく歓迎してくれてとても感謝しています。初めてでた試合は野幌で行われた雪中ラグビーの大会でした。ウイングででたのですがルールもまともにわからず、とにかく足を引っ張らないようにと試合に望みました。

結果は準優勝でした。ですが、自分は何もできず悔しい思いをしました。今度は活躍して納得いくような結果をだしたいと思い練習に励みました。すぐに中学生になり、試合にでて経験を積んでやっとラグビーらしい動きをできるようになったと思っていたら、もう最後の年でした。今年は体文協とスクール大会で優勝することを目標に練習しました。体文協は接戦でしたが、優勝することができました。スクール大会は1勝しかできず優勝することができませんでした。ですが、スクール大会はいい経験になりました。秋になると北海道選抜に選出していただき、目標の全国ジュニアにはいけませんでした。本州のレベルを試合にでて感じられたことは、とてもよかったです。

僕はこの3年間で色々なことを学びました。だからこそ、親やチームメイト、コーチには感謝しきれません。3年間ありがとうございました。

ジュニアを卒業します

「人生で一番の仲間！」

竹内 大空



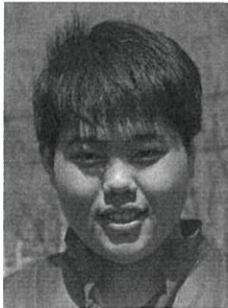
僕がバーバリアンズに所属したのは中学校2年になるときでした。それまでは札幌ラグビースクールでラグビーをやっていました。でも、その時は一度も公式戦で出させてもらえなくて試合に出られたとしても周りの人の足を引っ張っていました。周りの人にも相手にされずに僕はラグビーが嫌いになりました。それをお父さんに言うとか来年からチームを変えてバーバリアンズに入りなさいと言われたのがきっかけでした。入る前は今まで通り周りの人が僕を軽蔑した目で見てくるのじゃないかと不安でした。でも、先輩方や同級生の人たちがとても優しく接してくれたのですぐに馴染めることができました。それから辛い練習でもみんなで頑張っ、それを試合で発揮できた時、僕はラグビーをやっていて良かったと初めて心から思うことができました。そして、僕たちが3年になった年の体文協大会で目標にしていた優勝を勝ち取ることができ、それが最高の思い出になりました。

僕は、バーバリアンズに入って学んだことがあります。それは、仲間とならどんなに辛いことでも乗り越えていけると言うこと。そしてここで出会った仲間たちは僕にとって今までの人生で一番の仲間だったと言うことです！2年間本当にありがとうございました！！

ジュニアを卒業します

「チームプレーを大切に！」

中村 友哉



今年、一番嬉しかったことは体文協で優勝できたことです。バーバだけでは、メンバーが足りず山の手、札幌ラグビースクールとの合同チームでの出場でしたが、少ない練習の中でもコミュニケーションを取り、戦略など話し合い、試合に臨みました。決勝では、22対21というギリギリで勝つことができみんなで抱き合って喜びました。また、北海道選抜に選ばれる事で、今まで対戦相手だった人と同じチームになり、より厳しい練習と高い水準の試合ができるようになり、技術面が向上できたことも嬉しかったです。全国大会の結果は、2勝1敗でしたが、全国の強さを知ることができ、とても良い経験になりました。最高の環境での日々の練習、遠征、合宿、練習後の錦溪のお風呂、クラブハウスでのお泊り会・・・バーバで過ごした3年間でたくさんのいい思い出、たくさんのいい仲間ができました。僕は、中学1年生まで野球をしていました。野球は、個人プレーが多いスポーツでしたがラグビーはチームプレーが大切なスポーツでした。仲間たちと協力しあって1つのトライを決めるラグビーが大好きになりました。高校でもラグビーを続けたいと思います。2020年度の抱負 僕はこれから、立命館慶祥高校に行きます。高校では、勉強とラグビーの両立を頑張りたいです。立命館は、まだ花園へ行ったことがありませんので初の花園を目指して努力していきたいです。そして、バーバリアンズで学んできたことを高校でも生かせるように、さらにレギュラーを取れるように頑張りたいです。

最後に、短い3年間でしたが一緒にラグビーをしてくれたみんな、指導して下さったコーチの皆様、支えてくれた関係者の皆様、本当にありがとうございました。



ジュニア年間活動写真



4月 リーチとグレーガンと (東雁来)



5月 植樹祭 (定山溪G)



5月 春の体験会 (定山溪G)



5月 こぐまリーグ開会式 (立命館G)



6月 トップリーグ (札幌ドーム)



6月 トップリーグ (月寒G)



7月 高学年遠軽遠征 (湧別川G)



7月 道フェス (月寒G)

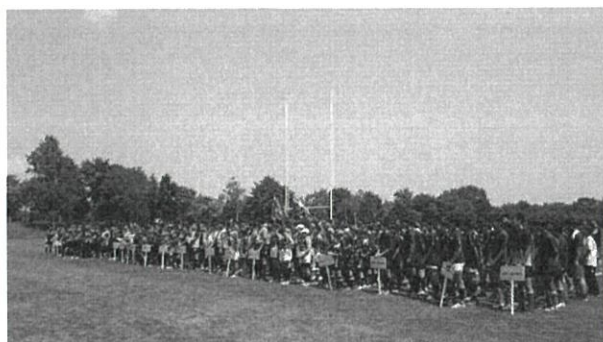
ジュニア年間活動写真



7月 トロフィーツアー (定山溪G)



7月 夏合宿 (定山溪G)



8月 体文協大会 (野幌G)



8月 ラグビークリニック (月寒G)



9月 函館遠征 (根崎G)



9月 スクール大会 (望洋G)



10月 なの花タグフェス (月寒G)



10月 札幌支部ミニ交流会 (定山溪G)

ジュニア年間活動写真



10月 道スクール代表(根崎G)



11月 ヒーローズカップ道決勝(月寒G)



11月 サントリーカップ予選(立命館)



12月 夏季納会(ロイン亭)



1月 新年餅つき会(定山溪)



2月 雪中ラグビー大会(野幌G)

旭東ラグビーフットボール協会 公式試合記録

Table for '東日本トップクラリーグ 第1節' (East Japan Top Club League 1st Round). Includes team names (北海道バーバリアンズ vs 上坂 弘文), player lists, and match statistics.

旭東ラグビーフットボール協会 公式試合記録

Table for '東日本トップクラリーグ 第2節' (East Japan Top Club League 2nd Round). Includes team names (北海道バーバリアンズ vs タイセイワウジャーレックス), player lists, and match statistics.

関東ラグビーフットボール協会 公式試合記録

Table with match details for '東日本トップクラブリーグ 第3節' (East Japan Top Club League 3rd Round). Includes date (September 1st), time (13:00), and venue (Hokkaido University Sports Complex).

Player statistics table for the 3rd round match. Lists players from '北郷道バーリアンズ' (Hokkaido Barbarians) and '大菅礼' (Ohsugan Rei), including positions, jersey numbers, and performance metrics like points, tries, and conversions.

Summary statistics table for the 3rd round match, showing total points, tries, conversions, and penalties for both teams.

Match timeline table for the 3rd round match, detailing the sequence of events such as kicks, conversions, and substitutions throughout the game.

Match details for '東日本トップクラブリーグ 第4節' (East Japan Top Club League 4th Round). Includes date (September 8th), time (13:00), and venue (Hokkaido University Sports Complex).

Player statistics table for the 4th round match. Lists players from '神楽川タマリクラブ' (Karakawa Tamari Club) and '北郷道バーリアンズ' (Hokkaido Barbarians), including positions, jersey numbers, and performance metrics.

Summary statistics table for the 4th round match, showing total points, tries, conversions, and penalties for both teams.

Match timeline table for the 4th round match, detailing the sequence of events such as kicks, conversions, and substitutions throughout the game.

2019年度 第29回東日本クラブ選手権大会決勝戦

Table for the 2019 29th East Japan Club Championship Final. Includes team names (Hokkaido Barbarians vs. Teikyo University), player lists, and match statistics.

Match statistics table for the 2019 29th East Japan Club Championship Final, showing points, tries, conversions, and other metrics.

Player statistics table for the 2019 29th East Japan Club Championship Final, listing individual player performance.

2019年度 第11節

Table for the 2019 11th Round match between Teikyo University and Teikyo University. Includes team names, player lists, and match statistics.

Match statistics table for the 2019 11th Round match, showing points, tries, conversions, and other metrics.

Player statistics table for the 2019 11th Round match, listing individual player performance.

大会結果速報 第27回全国クラブラグビーフットボール大会 1回戦

2019年度 第29回東日本クラブ選手権大会組合せ (2019/11/03)

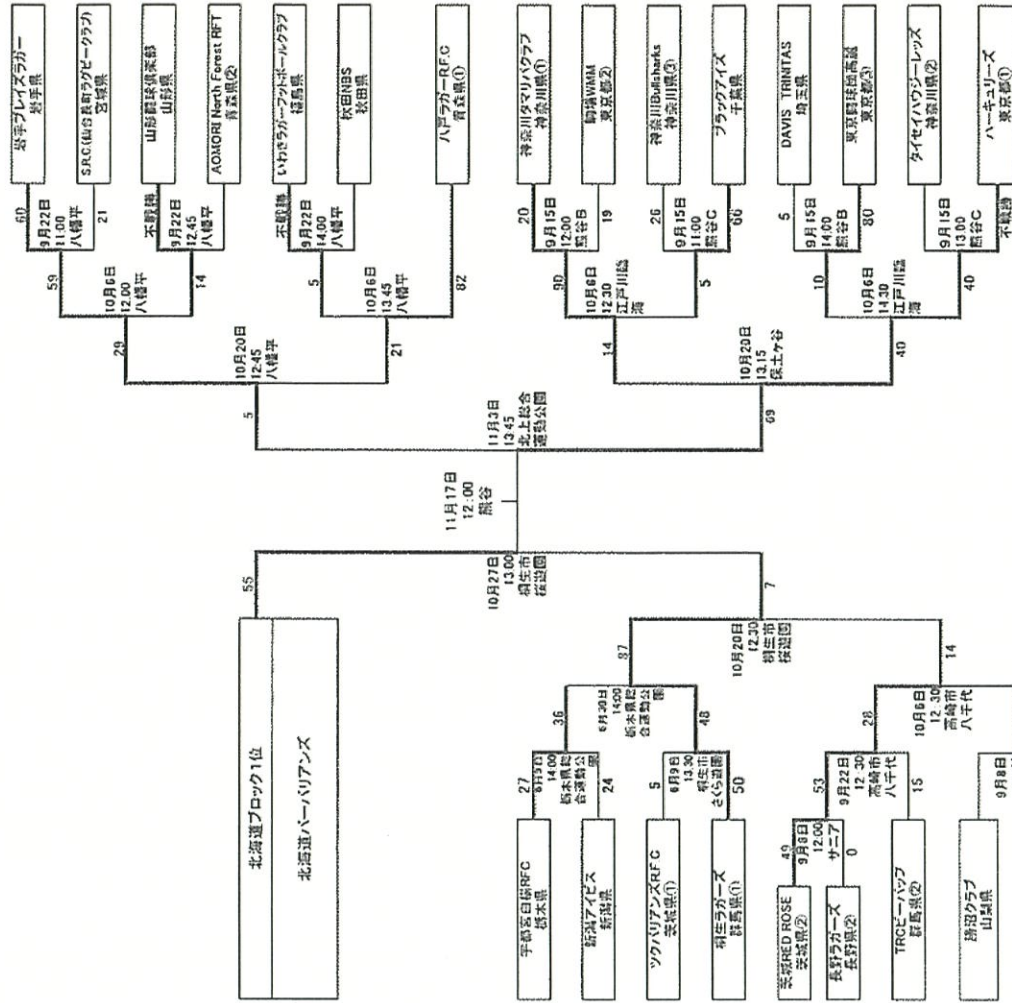
Match info table including date (2020/01/13), time (14:00), venue (300人), and referee (山本 貴浩).

Player list table with columns for Name, Pos., Height, Weight, Age, and Club. Includes players like 1 藤井 隆 (174/90/25) and 10 山本 貴浩 (170/90/28).

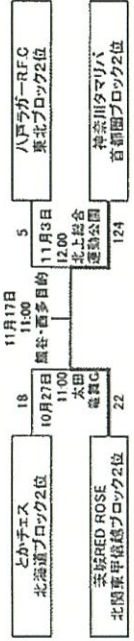
Match statistics table for Home and Away teams, showing time, possession, and other metrics.

Scoreboard table showing the progression of the match with columns for Time, Score, and Possession.

最終更新日: 2020/01/13 (月) 15:40



【各ブロック2位準決勝・決勝】全国クラブ大会・関東第5代表決定戦



大会結果情報 太陽生命ウィメンズセブンズシリーズ2019 第1戦秋田大会 第1日

試合概要: 対戦日 2019/04/28 (日), 会場 志ききんスタジアム, 天候 晴れ/微風, トクター 藤原純之Dr, 記録簿 藤原純之

選手名簿: 北海道バーバリアンズディアンナ (前編) vs ながとブルーエンジェルス (後編)

Home 交代/入替, Home 一時的退場, Away 交代/入替, Away 一時的退場

Home カード/処分, Away カード/処分

得点経過: 前半Kick off: 北海道バーバリアンズディアンナ / 後半Kick off: ながとブルーエンジェルス

<特記事項>, 最終更新日: 2019/04/28 (日) 12:59

大会結果情報 太陽生命ウィメンズセブンズシリーズ2019 第1戦秋田大会 第1日

試合概要: 対戦日 2019/04/28 (日), 会場 志ききんスタジアム, 天候 晴れ/微風, トクター 藤原純之Dr, 記録簿 藤原純之

選手名簿: MIE WOMEN'S RUGBY FOOTBALL CLUB PEARLS vs 北海道バーバリアンズディアンナ

Home 交代/入替, Home 一時的退場, Away 交代/入替, Away 一時的退場

Home カード/処分, Away カード/処分

得点経過: 前半Kick off: / 後半Kick off:

<特記事項>, 最終更新日: 2019/04/28 (日) 14:40

大会結果情報 太陽生命ウィメンズセブンズシリーズ2019 第1戦秋田大会 第1日

試合概要: 対戦日 2019/04/28 (日), 会場 志ききんスタジアム, 天候 晴れ/微風, トクター 藤原純之Dr, 記録簿 藤原純之

選手名簿: 北海道バーバリアンズディアンナ vs 自衛隊体育学校 P.T.S

Home 交代/入替, Home 一時的退場, Away 交代/入替, Away 一時的退場

Home カード/処分, Away カード/処分

得点経過: 前半Kick off: 北海道バーバリアンズディアンナ / 後半Kick off: 自衛隊体育学校 P.T.S

<特記事項>, 最終更新日: 2019/04/29 (月) 05:37

大会結果情報 太陽生命ウィメンズセブンズシリーズ2019 第1戦秋田大会 第2日

試合概要: 対戦日 2019/04/29 (月), 会場 志ききんスタジアム, 天候 晴れ/微風, トクター 藤原純之Dr, 記録簿 佐々木雄介

選手名簿: 北海道バーバリアンズディアンナ vs 日本体育大学ラグビー部女子

Home 交代/入替, Home 一時的退場, Away 交代/入替, Away 一時的退場

Home カード/処分, Away カード/処分

得点経過: 前半Kick off: 日本体育大学ラグビー部女子 / 後半Kick off: 北海道バーバリアンズディアンナ

<特記事項>, 最終更新日: 2019/04/29 (月) 11:45

Table with match details for 2019/04/29 (Sun) at 14:02. Includes team names (レフリー, アシスタントレフリー), venue (秋田県立総合体育館), and player lists for both teams.

Table with Home and Away statistics for the match on 2019/04/29. Shows scores for 1st and 2nd halves, and total scores.

Table with Home and Away cards for the match on 2019/04/29. Lists yellow and red cards for both teams.

Table with player statistics for the match on 2019/04/29. Lists players, positions, and their performance metrics.

最終更新日: 2019/04/29 (月) 14:35

Table with match details for 2019/05/18 (Sat) at 10:48. Includes team names (レフリー, アシスタントレフリー), venue (秋田県立総合体育館), and player lists for both teams.

Table with Home and Away statistics for the match on 2019/05/18. Shows scores for 1st and 2nd halves, and total scores.

Table with Home and Away cards for the match on 2019/05/18. Lists yellow and red cards for both teams.

Table with player statistics for the match on 2019/05/18. Lists players, positions, and their performance metrics.

最終更新日: 2019/05/18 (土) 11:23

https://www.rugby-japan.jp/match/18758/print 2020/03/23 太陽生命ウィメンズセブンズシリーズ2019 第2戦東京大会 第1日 Page 1 of 1

https://www.rugby-japan.jp/match/18802/print 2020/03/23 太陽生命ウィメンズセブンズシリーズ2019 第2戦東京大会 第1日 Page 1 of 1

Table with match details for 2019/05/18 (Sat) at 13:52. Includes team names (レフリー, アシスタントレフリー), venue (秋田県立総合体育館), and player lists for both teams.

Table with Home and Away statistics for the match on 2019/05/18. Shows scores for 1st and 2nd halves, and total scores.

Table with Home and Away cards for the match on 2019/05/18. Lists yellow and red cards for both teams.

Table with player statistics for the match on 2019/05/18. Lists players, positions, and their performance metrics.

最終更新日: 2019/05/18 (土) 14:35

Table with match details for 2019/05/18 (Sat) at 16:02. Includes team names (レフリー, アシスタントレフリー), venue (秋田県立総合体育館), and player lists for both teams.

Table with Home and Away statistics for the match on 2019/05/18. Shows scores for 1st and 2nd halves, and total scores.

Table with Home and Away cards for the match on 2019/05/18. Lists yellow and red cards for both teams.

Table with player statistics for the match on 2019/05/18. Lists players, positions, and their performance metrics.

最終更新日: 2019/05/18 (土) 16:38

Match details for 2019/05/19, 09:40, featuring Pearl's and Asistants.

Player statistics for Pearl's and Asistants, including names, positions, and try counts.

Home and Away try logs for Pearl's and Asistants.

Match timeline and key events for Pearl's and Asistants.

最終更新日: 2019/05/19 (日) 10:08

Match details for 2019/05/19, 12:22, featuring Pearl's and Asistants.

Player statistics for Pearl's and Asistants, including names, positions, and try counts.

Home and Away try logs for Pearl's and Asistants.

Match timeline and key events for Pearl's and Asistants.

最終更新日: 2019/05/19 (日) 14:53

Match details for 2019/05/19, 15:26, featuring Pearl's and Asistants.

Player statistics for Pearl's and Asistants, including names, positions, and try counts.

Home and Away try logs for Pearl's and Asistants.

Match timeline and key events for Pearl's and Asistants.

最終更新日: 2019/05/19 (日) 15:49

Match details for 2019/06/08 (土), 11:20, featuring Pearl's and Asistants.

Player statistics for Pearl's and Asistants, including names, positions, and try counts.

Home and Away try logs for Pearl's and Asistants.

Match timeline and key events for Pearl's and Asistants.

最終更新日: 2019/06/08 (土) 12:04

大会結果記録簿 太陽生命ウィメンズセブンズシリーズ2019 第3戦総大会 第1日

Match details for 2019/06/08 (Sun) at 13:50. Home: Barbarians, Away: Pearl's. Score: 31-5.

Player statistics for Barbarians and Pearl's. Barbarians: 7 tries, 24 points. Pearl's: 5 tries, 0 points.

Home and Away substitutions for Barbarians and Pearl's.

Home and Away cards for Barbarians and Pearl's.

Point-by-point breakdown of the match for Barbarians and Pearl's.

最終更新日: 2019/06/08 (土) 14:53

大会結果記録簿 太陽生命ウィメンズセブンズシリーズ2019 第3戦総大会 第1日

Match details for 2019/06/08 (Sun) at 16:34. Home: Barbarians, Away: MIE Women's Rugby Football Club Pearls. Score: 35-12.

Player statistics for Barbarians and MIE Women's Rugby Football Club Pearls. Barbarians: 7 tries, 24 points. Pearls: 12 tries, 5 points.

Home and Away substitutions for Barbarians and MIE Women's Rugby Football Club Pearls.

Home and Away cards for Barbarians and MIE Women's Rugby Football Club Pearls.

Point-by-point breakdown of the match for Barbarians and MIE Women's Rugby Football Club Pearls.

最終更新日: 2019/06/08 (土) 17:15

https://www.rugby-japan.jp/match/18946/print 2020/03/23
太陽生命ウィメンズセブンズシリーズ2019 第3戦総大会 第2日 Page 1 of 1

https://www.rugby-japan.jp/match/18950/print 2020/03/23
太陽生命ウィメンズセブンズシリーズ2019 第3戦総大会 第2日 Page 1 of 1

大会結果記録簿 太陽生命ウィメンズセブンズシリーズ2019 第3戦総大会 第2日

Match details for 2019/06/09 (Mon) at 11:22. Home: Barbarians, Away: RKK Gracie. Score: 35-19.

Player statistics for Barbarians and RKK Gracie. Barbarians: 21 tries, 14 points. RKK Gracie: 12 tries, 7 points.

Home and Away substitutions for Barbarians and RKK Gracie.

Home and Away cards for Barbarians and RKK Gracie.

Point-by-point breakdown of the match for Barbarians and RKK Gracie.

最終更新日: 2019/06/09 (日) 11:50

大会結果記録簿 太陽生命ウィメンズセブンズシリーズ2019 第3戦総大会 第2日

Match details for 2019/06/09 (Mon) at 14:04. Home: Barbarians, Away: Yokohama TKM. Score: 17-31.

Player statistics for Barbarians and Yokohama TKM. Barbarians: 0 tries, 17 points. Yokohama TKM: 24 tries, 7 points.

Home and Away substitutions for Barbarians and Yokohama TKM.

Home and Away cards for Barbarians and Yokohama TKM.

Point-by-point breakdown of the match for Barbarians and Yokohama TKM.

最終更新日: 2019/06/09 (日) 14:33

大会結果情報表 太陽生命ウィメンズセブンズシリーズ2019 第4戦富士山裾野御殿場大会 第1日 公式試合記録 2019/06/29記述

試合結果表: 東山丸フェニックス vs 北海道バーリアンズディアナ. Includes player stats for #1, #2, #3, #4, #5, #6, #7, #8, #9, #10, #11, #12 and a PK/FK table.

Home 交代/入替, Home 一時的退場, Away 交代/入替, Away 一時的退場. Lists player substitutions and temporary exits for both teams.

Home カード/処分, Away カード/処分. Lists disciplinary actions for both teams.

得点経過 前半Kick off: 北海道バーリアンズディアナ / 後半Kick off: 東山丸フェニックス. Includes a detailed score progression table with time, team, and player.

大会結果情報表 太陽生命ウィメンズセブンズシリーズ2019 第4戦富士山裾野御殿場大会 第1日 公式試合記録 2019/06/29記述

試合結果表: ながとブルーエンジェルズ vs 北海道バーリアンズディアナ. Includes player stats for #1, #2, #3, #4, #5, #6, #7, #8, #9, #10, #11, #12 and a PK/FK table.

Home 交代/入替, Home 一時的退場, Away 交代/入替, Away 一時的退場. Lists player substitutions and temporary exits for both teams.

Home カード/処分, Away カード/処分. Lists disciplinary actions for both teams.

得点経過 前半Kick off: ながとブルーエンジェルズ / 後半Kick off: 北海道バーリアンズディアナ. Includes a detailed score progression table with time, team, and player.

大会結果情報表 太陽生命ウィメンズセブンズシリーズ2019 第4戦富士山裾野御殿場大会 第1日 公式試合記録 2019/06/29記述

試合結果表: 北海道バーリアンズディアナ vs 追手門女子ラグビー部 VENUS. Includes player stats for #1, #2, #3, #4, #5, #6, #7, #8, #9, #10, #11, #12 and a PK/FK table.

Home 交代/入替, Home 一時的退場, Away 交代/入替, Away 一時的退場. Lists player substitutions and temporary exits for both teams.

Home カード/処分, Away カード/処分. Lists disciplinary actions for both teams.

得点経過 前半Kick off: 追手門女子ラグビー部 VENUS / 後半Kick off: 北海道バーリアンズディアナ. Includes a detailed score progression table with time, team, and player.

大会結果情報表 太陽生命ウィメンズセブンズシリーズ2019 第4戦富士山裾野御殿場大会 第1日 公式試合記録 2019/06/29記述

試合結果表: ながとブルーエンジェルズ vs 東山丸フェニックス. Includes player stats for #1, #2, #3, #4, #5, #6, #7, #8, #9, #10, #11, #12 and a PK/FK table.

Home 交代/入替, Home 一時的退場, Away 交代/入替, Away 一時的退場. Lists player substitutions and temporary exits for both teams.

Home カード/処分, Away カード/処分. Lists disciplinary actions for both teams.

得点経過 前半Kick off: 東山丸フェニックス / 後半Kick off: ながとブルーエンジェルズ. Includes a detailed score progression table with time, team, and player.

2019年4月1日(日)YC&AC セブンズ

1回戦 北海道 BB12vs42YC&AC

敗者戦 北海道 BB14vs38 日大

2019年5月12日 練習試合

12:00KO 定山溪 G

BC		札幌クラブ	
59	40(6T5G)	0	7
	19(3T2G)	7(1T1G)	

1森2島影3小林4本間5福井6大藤7安藤
8奥村(佐藤駿)9赤塚

10杉田一休11隅田12合田⑬笹田14林
駿平15増野

後半 1坂口(小林)2米津3久保田(西野)

④織田5榎6道島7関口洋8平尾(奥村)9
杉田卓也(赤塚)10篤寄11立野(林)12
滝内13村屋14西尾(辻貴史)15隅田

トライ 大藤、福井、笹田、隅田 2、林、合
田、西尾、篤寄 ゴール 杉田一休5、滝
内2

2019年5月18日 練習試合

BC		東海大	
33	7(1T1G)	0	0
	26(4T3G)	0	

1森2米津3坂口4織田5榎6安藤(手塚)7
道島(翔山)8石川9平島直弥(大森・岳史)
10坂田一休11杉田卓也12村屋(小松)1
3合田14西尾15鎌田

トライ 杉田卓也、一休、翔山、石川、西尾
ゴール一休 4

2019年5月19日(日)ひぐまりリーグ

12:00KO 定山溪 G

B		不死鳥	
38	19(3T2G)	7(1T1G)	24
	19(3T2G)	17(3T1G)	

1森(坂口)2島影(米津)3小林4大藤5福
井6石川(内田)7古谷(安藤)8増野(平尾)
9赤塚(露木)10坂田一休11立野12笹田
(合田)13村屋(滝内)14林駿平15隅田

トライ 立野、赤塚、村屋、小林2、杉田

ゴール 杉田4

ひぐまりリーグ

13:00KO

C		PGWeeds	
53	22(4T1G)	0	7
	31(5T3G)	7(1T1G)	

1森(島影)2川村3西野4織田(宮原)5本
間6関口(谷黒)7田畑(関口洋、手塚)安
藤(小林)9杉田卓也(林)10林11増野(直
弥)12合田13道島(石川)14岩野15鎌田

トライ 岩野、合田、関口、本間、石川2、
岩野2、林 ゴール杉田4

2019年5月22日(水)網走遠征

13:00KO 網走トレーニングフィールド

A		神戸製鋼コベルコス ティールーズ	
0	0	85(13T10G)	151
	0	66(10T8G)	

1宮澤2関3瀬谷4青山5和田6佐藤駿7靱
山8大島9君嶋(木村岳史)10櫻場11七
戸(伊禮)12鈴木裕也13西村(トウマナフ)
14佐賀(吉田)15葛目(奥田)

2019年5月26日(日)練習試合

11:54KO 定山溪 G

C		有感クラブ	
48	7(1T1G)	21(3T3G)	35
	5(1T)	14(2T2G)	
	36(6T3G)	0	

1 安藤2道島(中山)3久保田4榎(宮原)5
坂本(新野直之)6谷黒(道島)7関口洋8
新野隆9杉田卓史10天野11乾(岩野)12
林知欣13阿久津(梅村)14昆(山崎)⑮鎌
田

トライ 岩野、関口 3、林、山崎 2、鎌田 ゴ
ール岩野 2、林、関口
ひぐまりリーグ

12:30KO

B		JR/カレッジハウス	
28	7(1T1G)	33(5T4G)	45
	21(3T3G)	12(2T1G)	

1竹内(森)2島影(米津)3小林(坂口)4谷
嶋5大藤(福井)6伊藤大河(古谷)8増野
(奥村)9林駿平10坂田一休(笹田)11立
野(隅田)12アピサイ(合田)13滝内(村屋)
14片山(松本隼)15隅田

トライ 立野、隅田、赤塚、増野

ゴール 杉田4

2019年6月9日(日) 練習試合

12:00KO 定山溪 G

B		道都大	
15	0	7(1T1G)	28
	15(3T)	14(2T2G)	

1森(坂口)2島影(竹内)3小林(島影)4笹
田5大藤(奥村)6直弥7古谷(林)8白石9
大森(赤塚)10篤寄(坂田一休)11立野
(隅田)12合田(村屋)13村屋(滝内)14
林駿平(山崎)15増野(片山)

トライ 合田、小林2

ひぐまりリーグ

14:00KO

C		ウォリアーズ	
39	21(3T3G)	18(3T2G)	36
	18(3T2G)	18(3T2G)	

1森(西野)2川村3織田(中山)4榎5田畑
6伊藤(道島・谷黒)7関口(宮原)8辻拓
(安藤)9杉田(昆)10天野(岩野)11昆(杉
田)12岩野(乾)13小松14合田(杉田一
休)15笹田(片山)

トライ 川村、岩野2、合田、森、小松

ゴール 岩野3、杉田2

13:00KO 釜石市球技場 釜石遠征

30分1本

A		香港大学クラブ	
---	--	---------	--

50(8T5G)	0
----------	---

1宮澤2関3瀬谷4青山5和田6佐藤7榎山8Jose9木村10平島直弥11櫻場12吉田13鈴木裕也14伊禮15葛目

トライ 吉田2、榎山2、トウマナ、関、ジョセ、佐藤 ゴール 鈴木1、トウマナ5

30分1本

A	釜石シーウェイブス
26(4T3G)	12(2T1G)

1宮澤2関3瀬谷4青山5和田6大島7榎山8Jose9君嶋10櫻場11七戸12鈴木裕也13トウマナ14佐賀15奥田

トライ ジョセ2、佐藤、大島

ゴール トウマナ3

2019年6月15日(土)

ピリカモシリセブンズ 第1日目

ディアナ

レナミッチェル、小笹智美、ニアトリバー、平田彩寧、レネホームズ、ソフィークアーク、レイチェルクラウザーズ、山あずさ、ケイレンタキティム、田中怜恵子、木村あや、磯貝美香紗

ディアナ 26vs26 クインズランドU

ディアナ 24vs14 東京山九フェニックス

ディアナ 15vs12 Ra-Cha-pruek

ディアナ 31vs0 茨城県選抜

A ジョセル、榎山拓己、ウィリアムワーブリック、鈴木裕也、櫻場弥、フィリアメルツァー、七戸勇気、佐賀湧太郎、葛目篤郎、奥田浩也、トウマナワターハイ

A36vs22 専修大

A19vs22 茨城県選抜

北海道選抜

吉田甲大、和田昂輝、君嶋裕太、笹田幸介、伊禮慶太、アピサイ拓海、平島直弥、宮坂京介、高橋慎吾

北海道選抜 7vs40 岐阜県選抜

北海道選抜 19vs12 奈良県選抜

北海道選抜 0vs61 セブンズ TID

レジェンドマッチ RF 谷口 弘

森、道島、長谷川、辻、本間、村屋、杉田、三宅、渡辺、谷黒、安藤、江草、西尾、鎌田、天野、片山

レジェンド

ジニー、ジョン、ベン、山崎、宮原、小松、村田、東田、菊地

2019年6月15日(日)

ピリカモシリセブンズ 第2日目

決勝トーナメント

ディアナ 31vs5 Panthera Ladies

ディアナ 22vs17 TKM

決勝戦 ディアナ 14vs10 SDS

A 22vs19 岐阜県選抜

準決勝 A 19vs21 セブンズ TID

北海道選抜 7vs40 秋田 NB

北海道選抜 17vs42 Riamu

2019年6月23日(日)

秋田遠征

13:00KO あきぎんスタジアム

A	秋田 NB		
15	5(1T)	26(4T3G)	33
	10(2T)	7(1T1G)	

1宮澤2関(岡田)3瀬谷4青山5和田6大島(ジョセ)7榎山8Jose9君嶋(木村)10櫻場11佐賀(吉田)12鈴木裕也13トウマナ14葛目(七戸)15奥田

トライ 和田、トウマナ、榎山

ひぐまりリーグ

14:00KO

B	ウイングス		
52	31(5T3G)	0	12
	21(3T3G)	12(2T1G)	

1島影2米津3小林4福井5大藤6坂下7直弥8奥村9赤塚(林峻平)10坂田一休11立野12アピサイ13滝内14隅田15増野

(ウイングスで出場 笹田、谷嶋、片山、伊禮、合田)

トライ アピサイ2、福井、小林2、奥村、坂下2、増野2 ゴール 一休6

練習試合

15:00KO

C	有感クラブ		
38	17(3T2G)	7(1T1G)	21
	21(3T3G)	14(2T2G)	

1 森2中山3西野(金澤)4榎(中島)5織田(本間)6安藤(関口)7道島8伊藤大河9杉田卓史10岩野11石山12林知欣13乾14諸原 15 天野

トライ 榎、諸原、中山、岩野、伊藤、石山

ゴール伊藤大河 5

北海道選手権大会

2019年6月29日(土)

C	十勝クラシック A		
21	14(2T2G)	7(1T1G)	7
	7(1T1G)	0	

1森2道島3西野④織田5榎6ベン7内田8市川9杉田卓也10笹田11山崎正晴12渡辺暁13天野14伊藤大河15袴原16渡辺恵吾17関口洋18山田一雅19中村文隆20安藤良紀21池田宏一23隅田24杉田一休25島田太郎

トライ 山崎2 隅田 ゴール 山崎3

11:00KO

コルツ	釧路教育大公立合同		
10	5(1T)	5(1T)	24
	5(1T)	19(3T2G)	

1山谷(金澤)2中山(小関)3長谷川4本間5古村(杉原)6関口洋(鈴木大)7手塚(宮原・谷黒)8小池(川村)9森大吉10岩野11伊藤大河(尾坂)12天野(山本)13諸原(菊地)14林知欣(海藤)⑮鎌田(奥田)

トライ 鎌田、岩野

12:00KO RF 藤内有己/涌井大輔

ブラックス		北大	
34	15(3T)	0	7
	19(3T2G)	7(1T1G)	

1宮澤2関3瀬谷4青山5和田6平島直弥7岡田8大島9葛目⑩櫻場11伊禮(佐賀)12鈴木裕也13トゥマナワ14吉田(七戸)15奥田

トライ 七戸2、関、吉田2 ゴール 鈴木2

15:40KO RF 田中利昇

レッズ		北菱 A	
45	7(1T1G)	0	0
	38(6T4G)	0	

①坂口2島影 3 小林4福井5大藤6坂下7古谷(石川)8平尾(馬淵)9赤塚10杉田一休(篤壽)11立野12アピサイ13村屋(合田)14 滝内(隅田)15増野(奥村)

トライ 平尾、アピ 2、立野(認定)、坂下、立野 ゴール杉田5

2019年6月30日(日)

10:00KO RF 小林豊/長縄裕太

C		ウインズ	
41	21(3T3G)	14(2T2G)	14
	20(4T)	0	

1森(尾坂)2道島3西野④織田(池田)5榎6内田(安藤)7島田太郎(関口洋)8市川(中村文隆)9坂本智一(杉田卓)10大野慶樹(梅村)11山崎正晴(中村佳史)12笹田13小松(松本隼)14篠原(渡辺暁)15片山

トライ 山崎、篠原、市川、杉田2、関口梅村 ゴール 笹田3

13:10KO RF 田中利昇

ブラックス		札大	
43	19(3T2G)	7(1T1G)	12
	24(4T2G)	5(1T)	

1宮澤2関3瀬谷4青山5和田6平島直弥7岡田8大島9葛目⑩櫻場(木村)11伊禮(佐賀)12鈴木裕也13トゥマナワ14吉田(七戸)15奥田

トライ 岡田、奥田2、和田、伊禮、関、宮澤 ゴール 鈴木2、伊禮2

15:40KO

レッズ		道都大	
7	7(1T1G)	24(4T2G)	51
	0	27(5T1G)	

1竹内(坂口)2島影③小林4福井(谷嶋)5平尾6坂下7石川(古谷)8白石遥(奥村)9赤塚10杉田一休11立野12アピサイ(合田)13滝内(村屋)14隅田(馬淵)15増野

2019年7月7日(日)

12:00KO

C		釧路・岩見沢ラガー	
21	7(1T1G)	0	7
	14(2T2G)	7(1T1G)	

1森2道島3西野④織田5榎6ベン7内田8市川9杉田卓也10笹田11山崎正晴12渡辺暁13天野14伊藤大河15篠原16渡辺恵吾17関口洋18山田一雅19中村文隆20安藤良紀21池田宏一23隅田24杉田一休25島田太郎

トライ 山崎2 隅田 ゴール 山崎3

13:10KO RF 涌井大輔

ブラックス		道都大	
86	38(6T4G)	12(2T1G)	17
	48(8T4G)	5(1T)	

1宮澤2関3瀬谷4青山5和田6平島直弥7岡田8大島9葛目(木村)⑩櫻場11伊禮(佐賀)12鈴木裕也13トゥマナワ14七戸(吉田)15奥田(平川)

トライ 七戸2、伊禮2、大島 4、宮澤、吉田、トゥマナワ、平川、岡田、佐賀 ゴール 鈴木7、平川

2019年8月11日(日)定山溪 G

北海道クラブ選手権 決勝

A104vs7 とかチェス (詳細別紙)

2019年8月18日(日)定山溪 G

東日本トップクラブリーグ 第1節

A 43 vs 10 駒場 WMM(詳細別紙)

2019年8月25日(日)定山溪 G

東日本トップクラブリーグ 第2節

A 52vs12 タイセイハウジーレッズ

(詳細別紙)

千歳オーバー35 大会

A 24vs7 とかチェス

決勝戦 A 7vs0 上磯ラガー

B 17vs5 JR 北海道

2回戦 B 10vs14 札幌クラブ

2019年9月1日(日)定山溪 G

東日本トップクラブリーグ 第3節

A28vs36 RKU ラグビー龍ヶ崎ドラゴンズ

(詳細別紙)

11:00KO 練習試合 RF 池史直

C		有感クラブ	
56	28(4T4G)	0	5
	28(4T4G)	5(1T)	

1 織田2道島3金澤4榎56関口7宮原(谷黒)8長谷川(山田一雅)9杉田卓史10岩野11 12村屋13本間 14 15 三宅

トライ ⑪2 本間 道島 ⑫2 三宅 本間 ゴール杉田 8

2019年9月8日(日)保土谷ラグビー場

東日本トップクラブリーグ 第4節

A 22vs21 神奈川タマリバクラブ

(詳細別紙)

13:00KO 練習試合

定山溪 G RF 長縄祐太

BC		札幌クラブ	
33	0	21(3T3G)	28
	33(5T3G)	7(1T1G)	

1森2道島(米津)3久保田(島影)4織田

(谷嶋)5本間(大藤)6関口7安藤(宮原)8
山田一雅(小林貴士)9杉田卓也(林峻平)
10赤塚(杉田一休)11森大吉(山崎)12村
屋13坂下(合田)14増野(森大吉)15鎌
田(滝内)

トライ 関口 2、米津、山崎、大藤 ゴール
杉田一休 4

12:00KO 練習試合 定山溪 G

B		不死鳥・上磯		
38	5(1T)	21(3T3G)	33	
	7(1T1G)	12(2T1G)		

1 島影2米津3小林(森)4大藤5谷嶋6坂
下7安藤(道島)8増野(村屋)9赤塚10坂
田一休11片山12合田13滝内14林峻平
15隅田

トライ 隅田、赤塚 ゴール 杉田

2019年9月16日(日)小樽望洋台 G

谷黒、宮原、森、熊木、池田、織田、榊、伊
藤、手塚、関口、金沢、道島、山田一雅、
鎌田、乾、石山、昆、池田、杉田、天野、小
松、片江

トライ 乾2、池田、関口、織田、昆、杉田

ゴール 森、杉田

2019年9月20日(金) 定山溪 G

13:00KO RF 平川哲也

C		モスマンズ RFC		
19	12(2T1G)	19(3T2G)	45	
	7(1T1G)	26(4T3G)		

1 金澤(織田)2道島3熊木(金澤)4榊5本
間(宮原)6池田7安藤8市川9杉田卓史1
0岩野11阿久津12村屋13小松(渡邊)14
成田 15 鎌田

トライ 杉田、成田、鎌田 ゴール杉田 2

13:10KO RF 真継文友紀

A		クインズランド大		
40	7(1T1G)	26(4T3G)	33	

	33(5T3G)	7(1T1G)	
--	----------	---------	--

1 瀬谷2岡田3関4ジミー5青山6和田⑦靱
山8大島9葛目(木村)10櫻場11トウマナ
ワ(吉田)12鈴木裕也13アピサイ14七戸
15奥田

トライ 吉田、スクラム T、アピサイ、七戸、
葛目 2 ゴール 鈴木 4

2019年9月29日(日)千歳青葉 G

11:00KO

BC		ウオリアーズ		
26	12(2T1G)	0	0	
	14(2T2G)	0		

1 島影(森)2道島3久保田4榊5織田6佐
藤竜吾7関口8伊藤9杉田卓也10片山 11
高橋12合田13杉田一休14植松15ウル
ペニ

トライ 島影、高橋、ウルペニ、一休

ゴール 杉田 3

C		有感クラブ		
40	12(2T1G)	7(1T1G)	14	
	28(4T4G)	7(1T1G)		

1 森2渡辺恵吾3久保田4榊5織田6関口7
道島8片江9杉田卓史10片山11杉田一
休(伊藤)12手塚13安藤 14大果 15 鎌田
トライ 一休、片山、大果、関口、伊藤、鎌
田 ゴール杉田 5

2019年10月13日(日)定山溪 G

11:00KO 練習試合 RF 池史直

C		有感クラブ		
77	28(4T4G)	0	0	
	28(4T4G)	0		

1 榊原2道島(安藤)3島影(金澤)4田畑
(榊)5本間(諏訪・伊藤)6内田(阿久津)7
関口(佐藤竜吾)8増野(市川)9赤塚(金
和)10杉田一休(小松)11広谷(植松)12
合田13村屋 14林峻平 15 鎌田(隅田)

トライ 道島、伊藤、佐藤 2、植松 4、林、赤

塚 2、一休

ゴール一休、赤塚2、佐藤、広谷、植松

2019年10月27日(日)桐生さくら園 G

東日本クラブトーナメント 準決勝

A		桐生ラグーズ		
40	31(5T3G)	0	33	
	24(4T2G)	7(1T1G)		

1 瀬谷2岡田3関(清田)4ジミー5青山6和
田(西村)⑦靱山8大島9葛目(木村)10櫻
場11トウマナワ12鈴木裕也(伊禮)13アピ
サイ14七戸(佐賀)15奥田(吉田)

トライ 和田、奥田 2、鈴木、七戸、トウマナ
ワ 2、和田、関 ゴール 鈴木 5

2019年11月10日(日)定山溪 G

12:00KO 練習試合

B		カレッジ		
21	7(1T1G)	14(2T2G)	26	
	14(2T2G)	12(2T1G)		

1 安藤(仲澤)2米津3島影4榊5片江6村
屋7石川拓哉8増野(君嶋弟)9直弥(赤塚)
10坂田一休(鳥寄)11赤塚(杉田卓也)1
2大嶋13合田14隅田(天野)15千葉

トライ 隅田、一休、千葉 ゴール一休3

東日本トップクラブリーグ 第 11 節

東京海洋大 G 14:00KO

A 64 vs 12 神奈川ブルシャークス
(詳細別紙)

2019年11月17日(日)熊谷ラグビー場

東日本クラブトーナメント決勝

A 38vs28 ハーキュリーズ

(詳細別紙)